

平成29年度版 川を題材とした
総合的な学習の時間

活動事例集



平成30年3月

岐阜県県土整備部河川課・砂防課

岐阜県河川協会・岐阜県砂防協会

はじめに

平成12年度から始まった小中学校の「総合的な学習の時間」において、川を題材とした学習に取り組む小中学校に対し、岐阜県河川課及び砂防課では、平成14年度から支援を行ってきました。

また、県では、「清流」の恵みに感謝し、「清流」に育まれた、自然・歴史・伝統・文化・技をふるさとの宝物として、活かし、伝えるため、平成25年度に「清流の国ぎふ」の基本理念となる「清流の国ぎふ憲章」を発表しました。

この様な背景の下、次の世代を担う子ども達に川への関心や防災意識を高めてもらうため、川の中に入り、川とふれ合いながら学習する場を提供するなど、川を題材とした「総合的な学習の時間」への支援に積極的に取り組んできました。

この冊子は、平成29年度に各土木事務所でお手伝いをさせていただいた活動事例を紹介させていただくものであり、子ども達の環境学習、防災教育を進められる方々に参考としていただければ幸いです。

平成30年3月

岐阜県県土整備部河川課長 井上 清敬

砂防課長 広瀬 隆男

目 次

平成29年度支援活動一覧表	1
～支援活動事例～	
瑞穂市立牛牧小学校	4
瑞穂市立本田小学校	5
北方町立北方小学校	6
北方町立北方西小学校	7
岐阜市立早田小学校	8
北方町立北方南小学校	9
岐阜市立長森南中学校	10
垂井町立東小学校	11
大垣市立北小学校	12
垂井町立垂井小学校	13
大垣市立北小学校	14
大垣市（小中学生）	15
神戸町立南平野小学校	16
養老町立上多度小学校	17
池田町立池田小学校	18
県立揖斐特別支援学校	19
美濃市立中有知小学校	20
関市立博愛小学校	21
美濃市立牧谷小学校	22
関市立安桜小学校	23
関市立武儀西小学校	24
関市立洞戸小学校	25
関市立上之保小学校	26
関市立武儀東小学校	27
郡上市立牛道小学校	28
郡上市立吉田小学校	29
郡上市立八幡小学校	30
郡上市立北濃小学校	31
郡上市立大中小学校	32
郡上市立大和南小学校	33
郡上市立高鷲小学校	34
海津市立東江小学校	34

郡上市立明宝小学校	3 5
郡上市立小川小学校	3 6
郡上市立和良小学校	3 6
八百津町立和知小学校	3 7
可児市立広見小学校	3 8
七宗町立神淵小学校	3 9
岐阜県立東濃高等学校	4 0
美濃加茂市立山手小学校	4 1
多治見市立滝呂小学校	4 2
多治見市立南姫小学校	4 3
多治見市立昭和小学校	4 4
土岐市立濃南小学校	4 5
多治見市立共栄小学校	4 6
土岐市立肥田小学校	4 7
多治見市立根本小学校	4 8
瑞浪市立明世小学校	4 9
多治見市立精華小学校	5 0
瑞浪市立土岐小学校	5 1
多治見市立共栄小学校	5 2
多治見市立共栄小学校	5 3
多治見市立市之倉小学校	5 4
多治見市立滝呂小学校	5 5
土岐市立濃南小学校	5 6
多治見市立根本小学校	5 7
瑞浪市立瑞浪小学校	5 8
多治見市立共栄小学校	5 9
多治見市立南姫小学校	6 0
惠那市立岩邑小学校	6 1
惠那市立大井小学校	6 2
惠那市立大井第二小学校	6 3
惠那市立中野方小学校	6 4
下呂市立馬瀬小学校	6 5
下呂市立尾崎小学校	6 6
下呂市立上原小学校	6 7
下呂市立菅田小学校	6 8
下呂市立萩原小学校	6 9

下呂市立宮田小学校	・ ・ ・ ・ ・	7 0
下呂市立小坂小学校	・ ・ ・ ・ ・	7 1
高山市立北小学校	・ ・ ・ ・ ・	7 2
高山市立清見小学校	・ ・ ・ ・ ・	7 3
高山市役所（小学生）	・ ・ ・ ・ ・	7 4
飛騨市立古川西小学校	・ ・ ・ ・ ・	7 5
飛騨市立神岡小学校	・ ・ ・ ・ ・	7 6
飛騨市立宮川小学校	・ ・ ・ ・ ・	7 7
飛騨市立古川西小学校	・ ・ ・ ・ ・	7 8
岐阜県河川課（小学生）	・ ・ ・ ・ ・	7 9
岐阜県砂防課（小学生）	・ ・ ・ ・ ・	8 0
卷末資料	・ ・ ・ ・ ・	8 1
これまでの支援活動の経緯	・ ・ ・ ・ ・	1 0 1
支援窓口一覧	・ ・ ・ ・ ・	1 0 4

平成29年度 総合学習支援活動 一覧表

事務所	No.	月日	支援校名	学年	人数	テーマ	分類				前年継続
							治水	環境	砂防	安全	
岐阜	1	6月22日	瑞穂市立牛牧小学校	4	110	パックテストを用い、近隣の河川の水質について学ぶ		○		○	○
	2	6月27日	瑞穂市立本田小学校	4	92	糸貫川の生き物と瑞穂市内を流れる川の水質を調べ、糸貫川の現状を知ろう		○		○	○
	3	7月4日	北方町立北方小学校	4	88	生き物と水質の調査を行い、糸貫川の環境について学ぶ		○		○	○
	4	7月7日	北方町立北方西小学校	4	34	生き物と水質の調査を行い、糸貫川の環境について学ぶ		○		○	○
	5	9月15日	岐阜市立早田小学校	3	75	早田川に棲む生き物や早田川の水質を調べよう		○		○	○
	6	9月29日	北方町立北方南小学校	4	62	生き物と水質の調査を行い、糸貫川の環境について学ぶ		○		○	○
	7	10月3日	岐阜市立長森南中学校	1	119	身近な川に生息する生物を知り、川への興味関心を高めよう		○		○	○
大垣	8	5月18日	垂井町立東小学校	4	69	水生生物を指標にした水質調査(カワゲラウォッチング)	○	○		○	○
	9	5月30日	大垣市立北小学校	4	106	学校周辺を流れる川や水路の水質を調査すると共に、生物等の環境状況を観察する		○		○	○
	10	6月2日	垂井町立垂井小学校	4	47	水生生物を指標にした水質調査(カワゲラウォッチング)		○		○	○
	11	6月14日	大垣市立北小学校	4	116	児童の自宅から調べたい水(ジュース等)を持ち寄り、水質調査を行う		○		○	○
	12	7月30日	大垣市(小中学生)	-	120	水門川の川底学習会「歩いて観よう水門川クリーン作戦」		○		○	○
	13	9月12日	神戸町立南平野小学校	3	33	ハリヨが棲める環境や、家庭からできる環境対策を学ぶ		○		○	○
	14	10月27日	養老町立上多度小学校	4	34	土砂災害及び砂防について			○		○
揖斐	15	4月24日	池田町立池田小学校	5	55	土石流と砂防えん堤の役割	○		○		○
	16	8月3日	県立揖斐特別支援学校	-	27	川と環境「川の観察と生き物調査」	○	○			○
美濃	17	5月25日 5月31日	美濃市立中有知小学校	4	50	カワゲラウォッチング、パックテストを通して長良川の環境について学ぶ		○		○	○
	18	6月6日	関市立博愛小学校	5	36	カワゲラウォッチング、パックテストを通して武儀川の環境について学ぶ		○		○	○
	19	6月26日	美濃市立牧谷小学校	5	32	カワゲラウォッチング、パックテストを通して板取川の環境について学ぶ		○		○	○
	20	6月27日	関市立安桜小学校	5	92	カワゲラウォッチング、パックテストを通して関川の環境について学ぶ		○		○	○
	21	7月13日	関市立武儀西小学校	4,5	20	カワゲラウォッチング、パックテストを通して津保川の環境について学ぶ		○		○	○
	22	7月11日	関市立洞戸小学校	4	10	カワゲラウォッチング、パックテストを通して板取川の環境について学ぶ		○		○	○
	23	7月19日	関市立上之保小学校	4	8	カワゲラウォッチング、パックテストを通して津保川の環境について学ぶ		○		○	○
	24	10月11日	関市立武儀東小学校	4	10	パックテストを通して津保川の環境について学ぶ		○		○	○

事務所	No.	月日	支援校名	学年	人数	テーマ	分類				前年 継続
							治水	環境	砂防	安全	
郡上	25	5月12日	郡上市立牛道小学校	1,2	29	阿多岐ダムについて	○			○	
	26	5月19日	郡上市立吉田小学校	5	14	カワゲラウォッチングを通して粥川の環境について学ぶ		○		○	○
	27	5月24日	郡上市立八幡小学校	4	43	「水のまち郡上八幡」カワゲラウォッチングを通して川的美しさを実感する		○		○	
	28	6月9日	郡上市立北濃小学校	3	12	河川の水質調査	○	○		○	
	29	6月19日	郡上市立大中小学校	4	18	カワゲラウォッチングを行い長良川の水質を調べる		○		○	○
	30	6月22日	郡上市立大和南小学校	4	17	川のしくみについて学ぶとともに、ふるさとの川の水質の良さを知り、川を守っていこうという心情を持つ	○	○		○	○
	31	6月23日	郡上市立高鷲小学校 海津市立東江小学校	4	19	八百僧谷（長良川合流点）の水生生物調査		○			○
	32	9月22日	郡上市立明宝小学校 郡上市立小川小学校	4	13	砂防えん堤の役割と土砂災害に対する備えについて			○		
	33	1月30日	郡上市立和良小学校	5	13	砂防えん堤の役割と土砂災害に対する備えについて			○		○
可茂	34	5月26日 5月29日 6月2日	八百津町立和知小学校	4	30	川にすむ生物や水質などを調べて、今の石川の姿を知る		○		○	○
	35	6月6日	可児市立広見小学校	5	143	2010年7月15日に起きた可児川の災害について	○		○	○	○
	36	6月14日	七宗町立神淵小学校	4	14	川にすむ生物や水質などを調べて、今の神淵川の姿を知る		○		○	○
	37	7月10日	岐阜県立東濃高等学校	2	6	土砂災害から学ぶ、災害にそなえる	○		○	○	○
	38	1月29日	美濃加茂市立山手小学校	5	107	自然災害について	○		○		○
多治見	39	5月16日	多治見市立滝呂小学校	5	96	川の現状や川とのふれあい方を学ぶ	○	○		○	○
	40	5月17日	多治見市立南姫小学校	4	21	川の現状や川とのふれあい方を学ぶ	○	○		○	○
	41	5月18日	多治見市立昭和小学校	3	40	川の現状や川とのふれあい方を学ぶ	○	○		○	○
	42	5月18日	土岐市立濃南小学校	4	18	川の現状や川とのふれあい方を学ぶ	○	○		○	○
	43	5月23日	多治見市立共栄小学校	3	69	川の現状や川とのふれあい方を学ぶ	○	○		○	○
	44	5月31日	土岐市立肥田小学校	2	50	川の現状や川とのふれあい方を学ぶ	○	○		○	
	45	6月9日	多治見市立根本小学校	4	105	川の現状や川とのふれあい方を学ぶ	○	○		○	○
	46	6月13日	瑞浪市立明世小学校	5	20	川の現状や川とのふれあい方を学ぶ	○	○		○	
	47	6月15日	多治見市立精華小学校	5	137	川の現状や川とのふれあい方を学ぶ	○	○		○	○
	48	6月16日	瑞浪市立土岐小学校	5	53	川の現状や川とのふれあい方を学ぶ	○	○		○	○
	49	6月27日	多治見市立共栄小学校	3	69	川の現状や川とのふれあい方を学ぶ	○	○		○	○
	50	6月29日	多治見市立共栄小学校	4	64	川の現状や川とのふれあい方を学ぶ	○	○		○	○
	51	6月29日	多治見市立市之倉小学校	5	50	川の現状や川とのふれあい方を学ぶ	○	○		○	○
	52	8月30日	多治見市立滝呂小学校	2	105	川の現状や川とのふれあい方を学ぶ	○	○		○	○
	53	9月5日	土岐市立濃南小学校	4	18	川の現状や川とのふれあい方を学ぶ	○	○		○	○

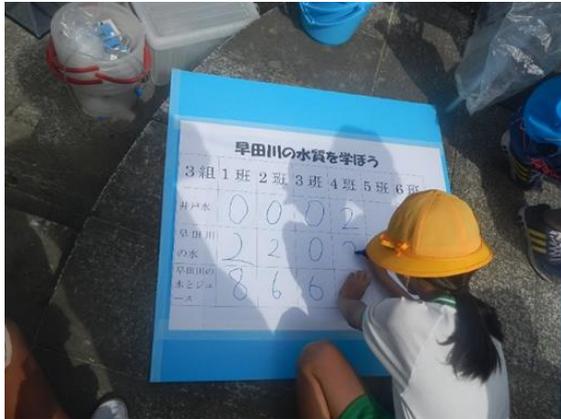
事務所	No.	月日	支援校名	学年	人数	テーマ	分類				前年継続
							治水	環境	砂防	安全	
多治見	54	9月8日	多治見市立根本小学校	4	105	川の現状や川とのふれあい方を学ぶ	○	○		○	○
	55	9月20日	瑞浪市立瑞浪小学校	4	125	川の現状や川とのふれあい方を学ぶ	○	○		○	○
	56	10月4日	多治見市立共栄小学校	4	64	川の現状や川とのふれあい方を学ぶ	○	○		○	○
	57	10月17日	多治見市立南姫小学校	4	21	川の現状や川とのふれあい方を学ぶ	○	○		○	○
恵那	58	4月27日	恵那市立岩邑小学校	4	49	ダム及び現在の河川環境を学ぶ	○	○	○	○	○
		7月7日		4	49						
	59	6月23日 6月26日	恵那市立大井小学校	4	49	カワゲラウォッチングにより横町川の水質について学ぶ	○	○	○	○	○
	60	7月3日 7月12日	恵那市立大井第二小学校	4	78	カワゲラウォッチングにより濁川の水質について学ぶ	○	○	○	○	○
61	11月14日	恵那市立中野方小学校	4	17	中野方ダムを学ぶ	○	○		○	○	
下呂	62	6月6日	下呂市立馬瀬小学校	3	10	身近な河川に棲む生き物を採取・調査し、水質状況を知ることにより水質の保全・浄化の重要性を学ぶ		○		○	○
	63	6月9日	下呂市立尾崎小学校	4	20	身近な河川に棲む生き物を採取・調査し、水質状況を知ることにより水質の保全・浄化の重要性を学ぶ		○		○	○
	64	6月12日	下呂市立上原小学校	1,2	10	身近な河川に棲む生き物を採取・調査し、水質状況を知ることにより水質の保全・浄化の重要性を学ぶ		○		○	○
	65	6月29日	下呂市立菅田小学校	6	10	身近な河川に棲む生き物を採取・調査し、水質状況を知ることにより水質の保全・浄化の重要性を学ぶ		○		○	○
	66	6月29日	下呂市立萩原小学校	5	42	身近な河川に棲む生き物を採取・調査し、水質状況を知ることにより水質の保全・浄化の重要性を学ぶ		○		○	○
	67	7月6日	下呂市立宮田小学校	4	11	住みよいくらしをつくる ー水はどこから	○	○		○	○
	68	7月18日	下呂市立小坂小学校	5	15	身近な河川に棲む生き物を採取・調査し、水質状況を知ることにより水質の保全・浄化の重要性を学ぶ		○		○	○
高山	69	6月15日	高山市立北小学校	4	134	カワゲラウォッチング、川の安全利用講習	○	○		○	○
	70	6月27日	高山市立清見小学校	3,4	45	カワゲラウォッチング、川の安全利用講習	○	○	○	○	
	71	7月28日	高山市役所(小学生)	-	60	カワゲラウォッチング、川の安全利用講習	○	○		○	○
古川	72	7月11日	飛騨市立古川西小学校	4	55	カワゲラウォッチングを通し、河川環境の保全について理解を深める		○		○	○
	73	7月13日	飛騨市立神岡小学校	4	45	カワゲラウォッチングを通し、河川環境の保全について理解を深める		○		○	○
	74	7月13日	飛騨市立宮川小学校	3,4	3	カワゲラウォッチングを通し、河川環境の保全について理解を深める		○		○	○
	75	11月9日	飛騨市立古川西小学校	5	44	伝統的防災施設(霞堤・輪中堤)について学び、地域防災について理解を深める	○			○	○
県庁	76	7月28日	岐阜県河川課(小学生)	-	24	清流の国ぎふ水環境イベント 清流の国ぎふの"川博士"・"川遊び名人"になろう!	○	○		○	○
	77	11月12日	岐阜県砂防課(小学生)	-	21	砂防を学ぶ 土砂災害について知ってもらい、土砂災害から身を守る方法を学んでもらう			○		
計	77				3,944		38	67	12	69	63

支援学校名	瑞穂市立牛牧小学校	担当教員名	堀江先生	対象学年・人数	4年生 110名
実施日	6月22日(金)		実施場所	牛牧小学校	
テーマ	パックテストを用い、近隣の河川の水質について学ぶ。	分類	治水・環境・砂防・安全啓発		
		連携機関			
学習内容①：パックテストの実施 CODパックテストの方法について説明し、採水箇所ごとに検査を行った。			学習内容②：テスト結果の取りまとめ CODパックテストの結果を取りまとめ、各班の結果を比較した。		
					
学習内容③：河川の水質について考える 採水箇所により河川の水質が異なることや、ジュースを加えた場合に水質が変化することについて考える。			学習内容④：河川の危険を知ろう 最後に川を安全に楽しむためのカードとチラシを使い、川の危険について学ぶことができた。		
					
【学習結果と考察】 <ul style="list-style-type: none"> 犀川、五六川の上流と下流の水質をCODパックテストにより調べた結果、どちらも下流より上流の方がきれいであることが分かった。 きれいな水に少量のジュースを加えるだけで、魚が棲めなくなるほど水質が悪くなることが分かり、川の水をきれいに保つことの大切さを学んだ。 			【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】 <ul style="list-style-type: none"> パックテストを行い身近な河川の水質を調べることによって、川の環境について興味を持ってもらった。 河川にゴミ等を捨てると、水質が悪化することを理解してもらうことができた。 パックテストの結果がうまく出ない児童が多くいたため、補助の方法等をもう少し工夫する必要があった。 		
備考	岐阜県自然工法管理士（3人参加）				
記入者	所属：河川第一係	氏名：坂井田 崇	電話番号（内線）	058-215-0978 (2780)	

支援学校名	瑞穂市立本田小学校	担当教員名	鷲見先生	対象学年・人数	4年生92名
実施日	6月27日(火)		実施場所	糸貫川(糸貫川運動公園付近)	
テーマ	「河川環境を学ぶ」 糸貫川の生き物と瑞穂市内を流れる川の水質を調べ、糸貫川の現状を知ろう。		分類	治水・環境・砂防・安全啓発	
			連携機関		
学習内容①：川とのふれあい方を学ぼう 実際に川に入り、糸貫川に生息する水生生物を採取することにより、身近な河川の自然環境について学んだ。			学習内容②：生き物の名前や特徴を知ろう 自分たちで捕まえた水生生物を観察し、名前や特徴を知り、糸貫川には、いろいろな水生生物が棲んでいることを学んだ。		
					
学習内容③：身近に流れる川の水質を知ろう① 小学校近くを流れる、中川、糸貫川の水、ジュースを混ぜた糸貫川の水について、CODパケットテストを用いた比較試験を行った。			学習内容④：身近に流れる川の水質を知ろう② CODパケットテストの結果を班毎にまとめ、結果を比較した。最後に、川の安全啓発のチラシを用い、川の危険について学んだ。		
					
<p>【学習結果と考察】</p> <ul style="list-style-type: none"> 身近な河川とふれあい、たくさんの生物が棲んでいることを学ぶことができた。 CODパケットテストにより、糸貫川・中川ともに水質が良いことが分かった。また、ジュースを入れた水のパケットテストの結果より、空き缶を川に捨てると大きく川を汚すことになることも学んだ。 			<p>【土木事務所担当者の所感(当事業の成果等)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校近隣の河川に実際に入り、生物調査を行うことにより、川への関心が高まったと思う。 昨年度より児童数が多く、パケットテスト試験の待ち時間が長くなるなどし、試験結果がうまく出ない児童が見られたため、補助や進行方法をもう少し工夫する必要があった。 		
備考	岐阜県自然工法管理士(4人参加)				
記入者	所属：河川第一係	氏名：松原 光	電話番号(内線)	058-215-0978 (2781)	

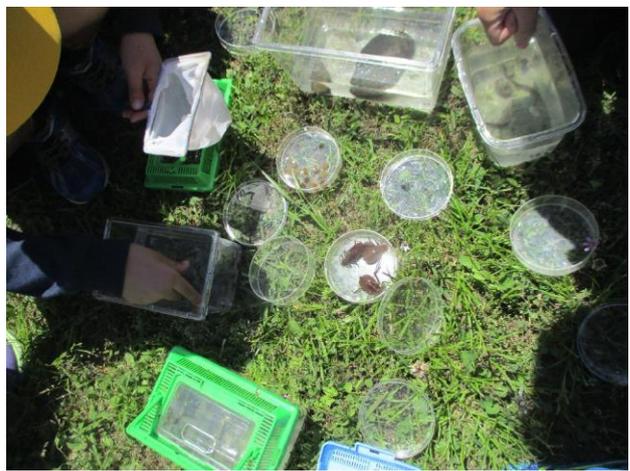
支援学校名	北方町立北方小学校	担当教員名	大西先生	対象学年・人数	4年生88名
実施日	7月4日(火)		実施場所	糸貫川(清流平和公園付近)	
テーマ	「河川環境を学ぶ」 生き物と水質の調査を行い、糸貫川の環境について学ぶ。		分類	治水・環境・砂防・安全啓発	
			連携機関	北方町教育委員会	
学習内容①：川とのふれあい方を学ぶ 糸貫川に実際に入って、水生生物の採取を行うことで、川底の様子など糸貫川の現況を学ぶことができた。			学習内容②：糸貫川の生態を学ぶ 採取したたくさんの水生生物を見ながら、名前、特徴について知る事ができた。		
					
学習内容③：糸貫川の水質を知る① 糸貫川の水、清流平和公園の井戸水、川の水にジュースを混ぜた水について、CODパックテストを用いた比較試験を行った。			学習内容④：糸貫川の水質を知る② CODパックテストの結果を班ごとにまとめ、結果を比較した。最後に、川の安全啓発のチラシを用い、川の危険について学ぶことができた。		
					
【学習結果と考察】 <ul style="list-style-type: none"> 身近な川に棲む生物を知ることができた。 糸貫川の水と他2種類の水のCODを比較することにより、糸貫川の水質を学ぶことができた。 糸貫川の水質を知ること、川を大切にすることの重要性を学ぶことができた。 			【土木事務所担当者の所感(当事業の成果等)】 <ul style="list-style-type: none"> 清流平和公園ができたおかげで、糸貫川が親しみやすい身近な川になってきている。 今年は暑い時期の開催であったので、川で採取する時間を長くしたり、日差しが当たらない橋の下を採取区域に加えるなどの工夫を行った。 		
備考	CCN(ケーブルテレビ)に当日の学習の様子が放送される。 岐阜県自然工法管理士(4人参加)				
記入者	所属：河川第一係	氏名：松原 光	電話番号(内線)	058-215-0978(2781)	

支援学校名	北方町立北方西小学校	担当教員名	臼井先生	対象学年・人数	4年生34名
実施日	7月7日(金)		実施場所	糸貫川(清流平和公園付近)	
テーマ	「河川環境を学ぶ」 生き物と水質の調査を行い、糸貫川の環境について学ぶ		分類	治水・環境・砂防・安全啓発	
			連携機関	北方町教育委員会	
学習内容①：川とのふれあい方を学ぶ 糸貫川に実際に入って、水生生物の採取を行うことで、川底の様子など糸貫川の現況を学ぶことができた。			学習内容②：糸貫川に棲む生物を知る 採取した水生生物を、班毎に図鑑を利用し名前を調べた。		
					
学習内容③：糸貫川の水質を知る① 糸貫川の水、清流平和公園の井戸水、川の水にジュースを混ぜた水について、CODパックテストを用いた比較試験を行った。			学習内容④：糸貫川の水質を知る② CODパックテストの結果を班ごとにまとめ、結果を比較した。最後に、川の安全啓発のチラシを用い、川の危険について学ぶことができた。		
					
<p>【学習結果と考察】</p> <ul style="list-style-type: none"> 身近な川に棲む生物を知ることができた。 糸貫川の水と他2種類の水のCODを比較することにより、糸貫川の水質を学ぶことができた。 糸貫川の水質を知ること、川を大切にする事の重要性を学ぶことができた。 			<p>【土木事務所担当者の所感(当事業の成果等)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 清流平和公園ができたおかげで、糸貫川が親しみやすい身近な川になってきている。 今年はとても暑い日の開催であったので、途中から場所を変更し、橋の下で授業を行うなどの工夫を行った。 		
備考	岐阜県自然工法管理士(3人参加)				
記入者	所属：河川第一係	氏名：松原 光	電話番号(内線)	058-215-0978(2781)	

支援学校名	岐阜市立早田小学校	担当教員名	篠田先生	対象学年・人数	3年生75名
実施日	9月15日(金)		実施場所	早田川(早田西公園付近)、早田西公園	
テーマ	「河川環境を学ぶ」 早田川に棲む生き物や早田川の水質を調べよう		分類	治水・環境・砂防・安全啓発	
			連携機関		
学習内容①：早田川の生き物を捕まえよう 早田川に生息する水生生物を採取し、学校の近くを流れる川の自然環境について学んだ。			学習内容②：早田川にいた生き物はなんだろう 自分たちで採取した水生生物を観察し、名前や特徴を学び、そこから早田川の水質について理解を深めた。		
					
学習内容③：早田川の水質を学ぼう① 早田川の水、公園の井戸の水、ジュースを混ぜた川の水について、CODパケットによる比較実験により、環境への影響について学んだ。			学習内容④：早田川の水質を学ぼう② CODパケットの結果を班ごとにまとめ、結果を比較した。最後に、川の安全啓発のチラシを用い、川の危険について学ぶことができた。		
					
<p>【学習結果と考察】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校の近くの川に棲む生き物について学ぶことができた。 3種類の水の水質を調べることにより、早田川の水質がどの程度なのかを学ぶことができた。また、空き缶、ペットボトル等のポイ捨ては川を大きく汚してしまうことを学ぶことができた。 			<p>【土木事務所担当者の所感(当事業の成果等)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校の近くの身近な川に入り、生物調査を実施することで、川への関心が高まったと思う。 今年は児童数が75名と昨年度より多かったため、パケット試験薬を長く持っていないよう、予め栓を抜いておくなどの工夫を行った。このため、実験は今年もねらいどおりの結果となり、児童も理解しやすかったのではないかと思う。 		
備考	岐阜県自然工法管理士(4人参加)				
記入者	所属：河川第一係	氏名：松原 光	電話番号(内線)	058-215-0978(2781)	

支援学校名	北方町立北方南小学校	担当教員名	青山先生	対象学年・人数	4年生62名
実施日	9月29日(金)		実施場所	糸貫川(清流平和公園付近)	
テーマ	「河川環境を学ぶ」 生き物と水質の調査を行い、糸貫川の環境について学ぶ。		分類	治水・環境・砂防・安全啓発	
			連携機関	北方町教育委員会	
学習内容①：川とのふれあい方を学ぶ 糸貫川に実際に入って、水生生物の採取を行うことで、川底の様子など糸貫川の現状を学ぶことができた。			学習内容②：糸貫川に棲む生物を知る 採取したたくさんの水生生物を見ながら、名前、特徴について知る事ができた。		
					
学習内容③：糸貫川の水質を知る① 糸貫川の水、清流平和公園の井戸水、川の水にジュースを混ぜた水について、CODパックテストを用いた比較試験を行った。			学習内容④：糸貫川の水質を知る② CODパックテストの結果を班ごとにまとめ、結果を比較した。最後に、川の安全啓発のチラシを用い、川の危険について学ぶことができた。		
					
【学習結果と考察】 <ul style="list-style-type: none"> 身近な川に棲む生物を知ることができた。 糸貫川の水と2種類の水のCODを比較することにより、糸貫川の水質を学ぶことができた。 糸貫川の水質を知ること、川を大切にする事の重要性を学ぶことができた。 			【土木事務所担当者の所感(当事業の成果等)】 <ul style="list-style-type: none"> 清流平和公園ができたおかげで、糸貫川が親しみやすい身近な川になってきている。 毎年、4年生を対象に継続して行うことにより、川を大切にする意識を根付かしていきたい。 		
備考	岐阜県自然工法管理士(3人参加)				
記入者	所属：河川第一係	氏名：松原 光	電話番号(内線)	058-215-0978(2781)	

支援学校名	岐阜市立長森南中学校	担当教員名	大島先生	対象学年・人数	1年生119名
実施日	10月3日(火)		実施場所	境川	
テーマ	身近な川に生息する生物を知り、川への興味関心を高めよう。		分類	治水・環境・砂防・安全啓発	
			連携機関	NPO法人 e-plus 生涯学習研究所	
学習内容①：川とのふれあい方を学ぶ			学習内容②：境川の生態を学ぶ		
境川に生息する水生生物を採取し、身近な河川の自然環境について学んだ。			採取した水生生物を種類ごとにわけ、境川に生息する生物やその特徴について学んだ。		
					
学習内容③：川の危険性について			学習内容④：		
まとまった雨が降ると川は恐ろしい場所にもなるということや、川の水位が上昇した時は、インターネットを通じてパソコン、携帯電話から川の水位を確認できることを学んだ。					
【学習結果と考察】			【土木事務所担当者の所感(当事業の成果等)】		
<ul style="list-style-type: none"> 身近な川に生息する生物の様子や種類を知ることによって、川への興味関心を高めることができた。 川は危険な場所にもなるということを理解し、川遊びの際に注意しなければならないことを学ぶことができた。 			<ul style="list-style-type: none"> 川に入る機会や、水生生物を採取する機会が少ない生徒が多かったため、積極的に生物を採取し、楽しそうに参加していた。 学校側で事前に、川に入る際の注意や境川の水生生物の生態等を学習していただいたおかげで、スムーズに進めることができた。 		
備考	特定非営利活動法人 e-plus 生涯学習研究所代表の小林さんのほか、河川環境楽園自然発見館の岩井さん、美濃加茂自然史研究会の安藤さんに協力いただきました。				
記入者	所属：河川第二係	氏名：大野 哲也	電話番号(内線)	058-215-0978 (2778)	

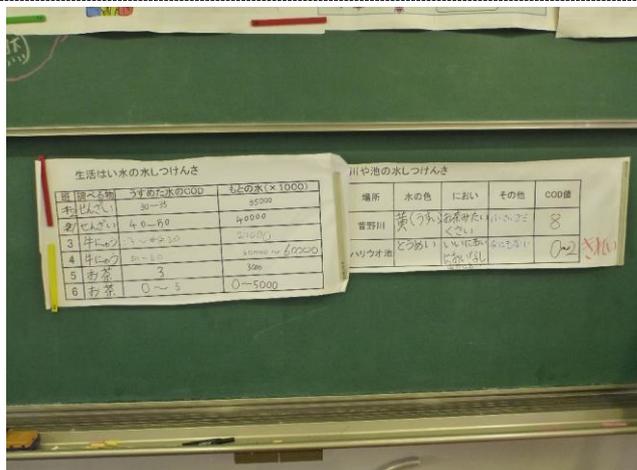
支援学校名	垂井町立東小学校	担当教員名	矢野先生	対象学年・人数	4年生69名
実施日	5月18日(木)		実施場所	相川(不和中学校南)	
テーマ	水生生物を指標にした水質調査 (カワゲラウォッチング)		分類	治水・環境・砂防・安全啓発	
			連携機関	TSUCHIYA(株)環境事業本部 一般財団法人土屋環境教育振興財団	
学習内容①：川の生き物の生息場所学習 川に入って生き物を捕まえてみることで、川の生き物がどんなところにいるか、学んだ。			学習内容②：生き物の分類 捕獲した生き物を、種類ごとに分類。生き物の見分け方や、種類の違いを学んだ。		
					
学習内容③：水のきれいさの調査 生息している種類と数によって、相川の水がきれいかどうか、調査を実施した。相川はきれいな水との判定。			学習内容④：川の危険性について 川で遊ぶ際の危険の避け方、また安全に配慮した楽しみ方、岐阜県が提供する川の防災情報の見方について学んだ。		
					
【学習結果と考察】 ・ 垂井東小学校では、4年生を対象に毎年環境学習を行っており、継続的な調査を行っている。 ・ 今年も、相川はきれいな水という結果になった。			【土木事務所担当者の所感(当事業の成果等)】 ・ 実際に川に入ること、川の危険(滑りやすいこと等)を肌で感じる事ができた。 ・ 生き物を捕まえて観察することで、川の生態系を実感することができた。		
備考	岐阜県自然工法管理士(2人参加)				
記入者	所属：河川係	氏名：吉田 孝敏	電話番号(内線)	0584-73-1111(373)	

支援学校名	大垣市立北小学校	担当教員名	松崎先生	対象学年・人数	4年生106名
実施日	5月30日(火)		実施場所	水門川(及び学校周辺水路)	
テーマ	「学校周辺の水質調査」 学校周辺を流れる川や水路の水質を調査すると共に、生物等の環境状況を観察する。		分類	治水・環境・砂防・安全啓発	
			連携機関		
学習内容①：学校周辺の水路の水質を知る。 水門川他、学校周辺を流れる用水路の水を汲み上げ、パックテストを用いてpH及びCODを測定した。 pH8.4 COD：6mg/L(学校周辺用水路)			学習内容②：水質と生物等の状況を観察する。 水路に流れる水の臭いや浮かんでいるもの、沈んでいるもの、生物等、観察した。		
					
学習内容③：生態系の豊かな場所を探す。 学校から500m程離れた水路に、常時湧き出ていると思われる湧水箇所を見つけた。pH7、COD2mg/Lで、水質もよい。カワニナ、おたまじゃくし、ヤゴ等を発見した。			学習内容④：川の危険性について 川の水質と生態系との関係を説明すると共に、夏本番を前に川の安全利用について、説明と注意喚起を行った。		
					
【学習結果と考察】 ・ 学校周辺の水路は、pHが高く(アルカリ性)、COD値も高かった。運動場に使うライン用の石灰でpHが上昇し、落ち葉から有機物が染み出ていると考えられる。 ・ 湧水が流れ続けている水路は、水量が少なくても水質がよく、生物も多く観察できた。			【土木事務所担当者の所感(当事業の成果等)】 ・ 河川環境の良否を水質、見た目ともにわかりやすい変化を見てもらうことができた。 ・ 安全啓発では事故事例等を真剣な眼差しで聞いて頂き、水難事故にあわないよう、注意して頂けると期待できた。		
備考	岐阜県自然共生工法管理士(3人参加)				
記入者	所属：河川係	氏名：吉田 孝敏	電話番号(内線)	0584-73-1111(372)	

支援学校名	垂井町立垂井小学校	担当教員名	桑原先生	対象学年・人数	4年生47名
実施日	6月2日(水)		実施場所	岩手川(相川)	
テーマ	水生生物を指標にした水質調査 (カワゲラウォッチング)		分類	治水・環境・砂防・安全啓発	
			連携機関	講師：伊藤充様	
学習内容①：川の生き物の生息場所学習 川に入って生き物を捕まえてみることで、川の生き物がどんなところにいるか学んだ。			学習内容②：生き物の分類 捕獲した生き物を、種類ごとに分類。生き物の見分け方や、種類の違いを学んだ。		
					
学習内容③：水のきれいさの調査 生息している種類と数によって、相川の水がきれいかどうか、調査を実施した。相川はきれいな水との判定。			学習内容④：河川防災について 川で遊ぶ際の危険の避け方、また安全に配慮した楽しみ方、岐阜県が提供する川の防災情報の見方について学んだ。		
					
【学習結果と考察】 家庭で何気なく捨てている飲料水等が、河川を汚す可能性があること、汚れた河川を人工的に浄化するため、莫大な労力がかかることを理解して頂けた。また、家庭排水は下水処理場にて浄化されていることも、付け加えさせて頂いた。			【土木事務所担当者の所感(当事業の成果等)】 河川環境をよりよいものにするため、一人一人ができる注意、取組みを示すことができた。今後も環境問題に興味を持って頂けると期待したい。		
備考	子ども達から感想の手紙をいただきました。【巻末資料81頁掲載】 岐阜県自然工法管理士(1人参加)				
記入者	所属：河川係	氏名：吉田 孝敏	電話番号(内線)	0584-73-1111(372)	

支援学校名	大垣市立北小学校	担当教員名	松崎先生	対象学年・人数	4年生 116名
実施日	6月14日(水)		実施場所	大垣北小学校体育館	
テーマ	家庭排水の水質調査(授業参観) 児童の自宅から調べたい水(ジュース等)を持ち寄り、水質調査を行う。		分類	治水・環境・砂防・安全啓発	
			連携機関		
学習内容①：家庭排水の水質調査 家から持ち寄ったジュースやソース、味噌汁等を1000倍に希釈し、CODを測定した。 それぞれ3000~50000mg/Lという高いCOD値となった。			学習内容②：水質調査から考えたことの発表 得られた結果から考えたこと発表し、川の水質を保つためにみんなができることについて、理解を深めた。		
					
学習内容③：家庭排水が環境に及ぼす負荷について 家庭排水が河川環境に及ぼす影響や、県が行っている水質浄化対策事業の一部について、説明を行った。 川へ流さないよう、意識するようになってくれた。			学習内容④：河川防災について 川の危険性や事故事例、岐阜県が提供する防災情報について、説明を行った。また、この日は保護者参観も兼ねていたため、ご家族の方にも合わせて説明した。		
					
【学習結果と考察】 家庭で何気なく捨てている飲料水等が、河川を汚す可能性があること、汚れた河川を人工的に浄化するため、莫大な労力がかかることを理解して頂けた。また、家庭排水は下水処理場にて浄化されていることも、付け加えさせて頂いた。			【土木事務所担当者の所感(当事業の成果等)】 河川環境をよりよいものにするため、一人一人ができる注意、取組みを示すことができた。今後も環境問題に興味を持って頂けると期待したい。		
備考	岐阜県自然工法管理士(1人参加)				
記入者	所属：河川係	氏名：吉田 孝敏	電話番号(内線)	0584-73-1111 (372)	

支援学校名	大垣市内の小中学校	担当教員名	大垣土木	対象学年・人数	小学生他120名
実施日	7月30日(土)		実施場所	水門川(貴船広場周辺)	
テーマ	水門川の川底学習会 「歩いて観よう水門川クリーン作戦」		分類	治水・環境・砂防・安全啓発	
			連携機関	水門川クリーン作戦実行委員会	
学習内容①：水門川の生態を学ぶ 水門川に実際に入って、水生生物の採取を行うことで、どんな場所に生物が生息しているか学ぶことができた。			学習内容②：水門川の環境を学ぶ 水門川でとれた生き物、ゴミの種類や量を確認することで、現在の水門川の環境を確認することができた。		
					
学習内容③：水門川の水生生物を学ぶ 水生生物の捕獲方法や各種生物の居場所を知り、どのような生物がどのくらい生息しているのかを学ぶことができた。			学習内容④：川の安全啓発について 夏休み中ということもあり、川に潜む危険や、岐阜県が提供する川の防災情報の見方について、説明を行った。		
					
【学習結果と考察】 <ul style="list-style-type: none"> 水門川はアユ、カマツカ、オイカワ、ヨシノボリ、ナマズ、スズキ、ボラ、モズクガニ、スジエビ等の在来種が多く見られたことから、多種多様な生物が生息し、良好な河川環境であると考えられる。 しかし、オオクチバスやアメリカザリガニ、ミドリガメ等の外来種も見られた。 			【土木事務所担当者の所感(当事業の成果等)】 <ul style="list-style-type: none"> 子供たちはアユやオイカワだけでなく、海にいるボラやスズキもいたことに驚いていた。街中の川でありながら、きれいな環境であることがわかった。 また、空き缶やペットボトルのゴミが多いことにも驚いていた。 		
備考	岐阜県自然工法管理士(20人参加)				
記入者	所属：河川係	氏名：吉田 孝敏	電話番号(内線)	0584-73-1111(372)	

支援学校名	神戸町立南平野小学校	担当教員名	佐々木先生	対象学年・人数	3年生33名
実施日	9月12日(水)		実施場所	南平野小学校理科室	
テーマ	「川の環境について学ぼう」 ハリヨが棲める環境や、家庭からできる環境対策を学ぶ		分類	治水・環境・砂防・安全啓発	
			連携機関		
学習内容①：ハリヨが棲める河川環境を学ぶ 神戸町を流れる平野井川、菅野川の河川環境について説明し、ハリヨが棲める理由を学ぶ。			学習内容②：パックテストについて 菅野川と学校のハリヨ池の水質比較と、家庭排水の水質をCODパックテストにて学ぶ。		
					
学習内容③：テスト結果の比較 テスト結果について、取りまとめを行い、クラスで感じたことを発表しあった。			学習内容④：川の安全啓発について		
					
【学習結果と考察】 <ul style="list-style-type: none"> 水質調査としてパックテストを学習した。家庭からの流されている物がどれだけ川への影響があるのかを比較して学習することができた。 菅野川とハリヨ池ではどれくらい水質に違いがあるのか学習できた。 河川の水質をきれいに保つことの大切さについて学習できた。 			【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】 <ul style="list-style-type: none"> パックテストという簡易な検査で、身近にある河川の水質を調べることで、川について興味をもってもらった。 ハリヨ等の水質の綺麗な所に棲む魚への影響についても学習することができた。 		
備考	子ども達から感想の手紙をいただきました。【巻末資料82頁掲載】 岐阜県自然工法管理士（2人参加）				
記入者	所属：河川係	氏名：吉田 孝敏	電話番号（内線）	0584-73-1111 (373)	

支援学校名	養老町立上多度小学校	担当教員名	田中先生	対象学年・人数	4年生34名
実施日	10月27日(金)		実施場所	小倉谷(砂防えん堤、護岸)	
テーマ	土砂災害と砂防について		分類	治水・環境・ 砂防 ・安全啓発	
			連携機関		
学習内容①：土砂災害と砂防について 「土石流」をテーマとして、土砂災害の発生原因や規模を知ること、土砂災害から身を守る方法を学んだ。			学習内容②：地元の特徴を学ぶ 当地域は、養老山系の扇状地に位置し、小倉谷が家や道路などより高い所を流れていること、また、近年、西濃地域で土砂災害が実際に起きていることを学んだ。		
					
学習内容③：砂防施設の役割について(模型実験) 土石流に対する砂防えん堤やがけ崩れに対する擁壁の機能について、模型を使うことで、分かり易く、楽しく体験することができた。			学習内容④：砂防施設の役割について(現地見学) 現地見学により、砂防えん堤の大きさを実際に見て、砂防えん堤の役割や土石流の恐ろしさを肌で感じる事ができた。		
					
【学習結果と考察】 <ul style="list-style-type: none"> 教室でのスライドで見た土石流の映像を、現地見学での実際の砂防えん堤と比較して、その恐ろしさを学ぶことができた。 模型実験では、砂防施設があると、家や橋などの被害が少なくなることを理解することができた。 			【土木事務所担当者の所感(当事業の成果等)】 <ul style="list-style-type: none"> 土砂災害の恐ろしさや砂防施設の役割について、映像、模型及び現地見学により体験することで、より分かり易くなるよう、心がけた。 総合学習で学んだことを家庭に持ち帰り、避難場所・経路の確認や土砂災害から身を守る方法を相談することで、台風や大雨時に危険を察知し、適切な避難行動をとっていただくことを期待している。 		
備考					
記入者	所属：砂防係	氏名：川上 裕史	電話番号(内線)	0584-73-111 (375)	

支援学校名	池田町立池田小学校	担当教員名	河村先生	対象学年・人数	5年生55名
実施日	4月24日(月)		実施場所	大津谷(大津谷公園)	
テーマ	土石流と砂防えん堤の役割		分類	治水・環境・砂防・安全啓発	
			連携機関		
学習内容①:「砂防えん堤」とは何?			学習内容②:砂防えん堤の役割		
現地において、「砂防えん堤」とは何か、「土砂災害」、「土石流」、「砂防」とは何かについて学んだ。			実際に砂防えん堤を見てもらい、過去に発生した土砂災害や施設の役割を学んだ。		
					
学習内容③: 模型を使った学習①			学習内容④: 模型を使った学習②		
砂防えん堤がある場合とない場合を模型を使って確認し、地域が施設によってどのように守られているかを学んだ。			模型を使って、土石流に対する砂防えん堤やがけ崩れに対する擁壁の機能を学んだ。		
					
<p>【学習結果と考察】</p> <ul style="list-style-type: none"> 土砂災害がどのように発生するか、どんなところに危険があるかを学んだ。 土石流の現象、砂防施設の効果や役割について、模型実験で砂防施設があると被害が少なくなることを学んだ。 			<p>【土木事務所担当者の所感(当事業の成果等)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 砂防えん堤を実際に現地で見学し、施設が地域を土石流から守っていることを理解できたと思う。 模型を使っでの学習では、生徒が非常に興味をもって学習効果を高めたと思う。 		
備考					
記入者	所属: 河川砂防係	氏名: 鹿野 智博	電話番号(内線)	0585-23-1111 (342)	

支援学校名	岐阜県立揖斐特別支援学校	担当教員名	中川先生	対象学年・人数	中学部 27名
実施日	8月3日(木)		実施場所	管瀬川(結城橋上流)	
テーマ	川と環境「川の観察と生き物調査」		分類	治水・環境・砂防・安全啓発	
			連携機関	揖斐川町役場谷汲振興事務所	
学習内容①：川とのふれあい方を学ぶ			学習内容②：管瀬川の生態を学ぶ		
管瀬川に実際に入って、水生生物の採取を行うことで、川の特徴を知るとともに、どんな場所に生物が生息しているかを学ぶことができた。			採取した水生生物を種類ごと分け、様々な生物の名前を知るとともに、どんな生き物がどれくらい生息しているかを学ぶことができた。		
					
学習内容③：管瀬川の水質を知る			学習内容④：川の危険性について		
管瀬川で採水した水のpH、透視度、BODをグループごとにパックテストで調べた。			まとまった雨が降ると急な増水や流れが急になり恐ろしい場所にもなるということを学んだ。		
					
【学習結果と考察】			【土木事務所担当者の所感(当事業の成果等)】		
<ul style="list-style-type: none"> 管瀬川の水質を知ること、生物が生息しやすいきれいな河川であることを学んだ。 さかなのつかまえ方、すんでいる場所を学んだ。 カジカ、ドンコ、カワヨシノボリ、スジエビ、サワガニ、ハグロトンボ、マダラカゲロウを採取できた。 			<ul style="list-style-type: none"> 実際に川の中で子ども達の様子から、自然と触れ合い楽しそうに夢中になっていた。 暑い時期の開催であったため、テントを設置して熱中症対策を行った。 地元の有識者を招き、オリジナルの揖斐郡にすんでいるさかなの写真をプリントした下敷きを配り、生物の説明を行う工夫をした。 		
備考	岐阜県野生生物保護推進員(1名参加) 岐阜県自然工法管理士(1人参加)		揖斐川町役場谷汲振興事務所(1名参加)		
記入者	所属：河川砂防係	氏名：鹿野 智博	電話番号(内線)	0585-23-1111(463)	

支援学校名	美濃市立中有知小学校	担当教員名	高橋先生	対象学年・人数	4年生50名
実施日	5月25日(木)、31日(水)		実施場所	長良川(山崎大橋下流)	
テーマ	カワゲラウォッチング、パックテストを通して長良川の環境について学ぶ	分類	治水・環境・砂防・安全啓発		
		連携機関			
学習内容①：長良川の様子、水生生物の生息の様子 小学校の近くを流れる長良川に実際に入って河川水の水温や流速、歩きにくさを体感し、どのような場所に水生生物が生息しているかを学んだ。		学習内容②：指標生物による長良川の水質判定 自分たちで捕獲した水生生物を種類ごとに分類、判定用の下敷などを参考に指標生物を探し、長良川の水質を判定した。			
					
学習内容③：パックテストによる長良川の水質判定 直接採取した河川水をパックテストにより水質検査した。河川水との比較として、ジュースを水道水で希釈したのもでもパックテストを実施した。		学習内容④：水難事故に合わないために 水難事故に合わないために心掛けたいことについて説明した。			
					
【学習結果と考察】 ・捕獲した生物から、長良川の水は、「きれい」「少しきたない」と判定された。 ・パックテストによる水質判定では、水道水は「きれい」、長良川の水は「きれい」、ジュースを薄めた水道水「大変きたない」と判定された。 以上のことより、長良川の水質は、「きれい」「少しきたない」と考えられた。		【土木事務所担当者の所感(当事業の成果等)】 ・カワゲラ等の虫が川の水のきれいさの指標になることを知り、驚いた様子だった。 ・長良川の水をパックテストで判定した結果、水質がきれいだったため、児童たちは喜んでいて。 ・分かりやすく伝えるために、できるだけ専門用語は使わず、平易な言葉を用いることを心がけた。 ・川に興味を持ってもらえると嬉しく思う。			
備考	岐阜県自然工法管理士(1人参加)				
記入者	所属：河川係	氏名：上野 公彦	電話番号(内線)	0575-33-4011(323)	

支援学校名	関市立博愛小学校	担当教員名	坂田先生	対象学年・人数	5年生36名
実施日	6月6日(火)		実施場所	武儀川(武儀川スポーツ公園上流)	
テーマ	カワゲラウォッチング、パックテストを通して武儀川の環境について学ぶ	分類	治水・環境・砂防・安全啓発		
		連携機関			
<p>学習内容①：武儀川の様子、水生生物の生息の様子 小学校の近くを流れる武儀川に実際に入って、河川水の透明度や水温、流速、河床材料、歩みにくさ等を体感し、カワゲラなどの水生生物を採捕した。</p>		<p>学習内容②：指標生物による武儀川の水質判定 捕獲した水生生物を生物種ごとに分類し、指標生物をもとに、武儀川の水質を判定した。</p>			
					
<p>学習内容③：パックテストによる武儀川の水質判定 水道水と武儀川の河川水をパックテスト(COD)により水質検査した。ジュースを水道水で希釈した水でもパックテストを実施し、水道水や武儀川の水と比較した。</p>		<p>学習内容④：水難事故に合わないために 水難事故に合わないために心掛けないことについて説明した。</p>			
					
<p>【学習結果と考察】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・捕獲した生物は、ヒラタカゲロウ、ヘビトンボ、ヒゲナガカワトビラなどであった。 ・指標生物による水質判定は、きれいという判定となった。 ・パックテストによる水質判定により、武儀川の水は水道水と同等くらいきれいな水質であることがわかった。 ジュースを薄めた水道水は、CODが8以上となり大変きかないという結果となった。 		<p>【土木事務所担当者の所感(当事業の成果等)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際に川に入ってもらい、川の流れや河床の状態を体験することで川の危険性を学ぶことができた。 ・パックテストにおいてジュースを混ぜた水のCODが8以上という結果を受け、川にゴミを捨てないようにしたいといった感想があった。 ・水生生物に関する質問が多く見られ、子供たちの川への興味を持つきっかけになったと感じた。 			
備考	岐阜県自然工法管理士(1人参加)				
記入者	所属：河川係	氏名：石原大輝	電話番号(内線)	0575-33-4011(323)	

支援学校名	美濃市立牧谷小学校	担当教員名	村井先生	対象学年・人数	5年生32名
実施日	6月26日(月)		実施場所	板取川(蕨生大橋上流)	
テーマ	カワゲラウォッチング、パックテストを通して板取川の環境について学ぶ		分類	治水・環境・砂防・安全啓発	
			連携機関		
<p>学習内容①：板取川の様子、水生生物の生息の様子 小学校の近くを流れる板取川に実際に入って河川水の水温や流速、歩きにくさを体感し、どのような場所に水生生物が生息しているかを学んだ。</p>			<p>学習内容②：指標生物による板取川の水質判定 自分たちで捕獲した水生生物を種類ごとに分類、判定用の下敷などを参考に指標生物を探し、板取川の水質を判定した。</p>		
					
<p>学習内容③：パックテストによる板取川の水質判定 パックテストにより直接採取した河川水を検査した。河川水との比較として、ジュースを水道水で希釈したものを使ってパックテストを実施した。</p>			<p>学習内容④：水難事故に合わないために 水難事故に合わないために心掛けたいことについて説明した。</p>		
					
<p>【学習結果と考察】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・捕獲した生物:カワゲラ、ヒラタカゲロウ、オオヤマカゲロウ、タニガワカゲロウ、マダラカゲロウ、ヒゲナガカワトビケラ、ヒラタドムシ、ヘビトンボ ・指標生物による水質判定:きれい～すこしきたくない ・水道水で1,000倍に希釈したジュースや水生生物調査結果:板取川の水質が良好である。 <p>以上のことより、板取川の水質はきれい～少しきたくないと考えられる。</p>			<p>【土木事務所担当者の所感(当事業の成果等)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川で遊ぶことは多いが虫を捕まえることは初めての子が多かったため、川には多くの虫が生息していることや、川に住む生物の種類から水質がわかることに非常に驚いていた。 ・生物調査の実施箇所が径20cm程の石が点在している河床であったため、石の上は非常に滑りやすく、子ども達は注意深く歩くことで、川との接し方を学ぶことができた。 		
備考	<p>美濃市役所の総合政策課が取材しました。</p> <p>7月4日(火)岐阜新聞(中濃版)に総合学習の記事が掲載される。【巻末資料83頁掲載】</p> <p>岐阜県自然工法管理士(1人参加)</p>				
記入者	所属：河川係	氏名：宇田 将隆	電話番号(内線)	0575-33-4011(323)	

支援学校名	関市立安桜小学校	担当教員名	前田先生	対象学年・人数	5年生92名
実施日	6月27日(火)		実施場所	関川(春日橋下流左岸)	
テーマ	カワゲラウォッチング、パックテストを通して関川の環境について学ぶ		分類	治水・環境・砂防・安全啓発	
			連携機関	関市役所 土木課	
学習内容①：関川の様子、水生生物の生息の様子 小学校の近くを流れる関川に実際に入って河川水の水温や流速、歩きにくさを体感し、どのような場所に水生生物が生息しているかを学んだ。			学習内容②：指標生物による関川の水質判定 自分たちで捕獲した水生生物を種類ごとに分類、判定用の下敷などを参考に指標生物を探し、関川の水質を判定した。		
					
学習内容③：パックテストによる関川の水質判定 直接採取した河川水をパックテストにより水質検査した。河川水との比較として、ジュースなどを水道水で希釈したのもでパックテストを実施した。			学習内容④：水難事故に合わないために 水難事故に合わないために心掛けないことについて説明した。		
					
<p>【学習結果と考察】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・捕獲した生物から、関川の水は、「少しきたない」「きたない」と判定された。 ・パックテストによる水質判定では、水道水は「きれい」、関川の水は「少しきたない」、ジュースを薄めた水道水は「大変きたない」と判定された。 <p>以上のことより、関川の水質は「少しきたない」「きたない」と考えられた。</p>			<p>【土木事務所担当者の所感(当事業の成果等)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普段入らない川に入り、河床の状態を知ること、川底がどれくらい危ないか学ぶことができた。 ・捕獲した生物によって、水質を判定できることを理解できたと思われる。 ・関川の水質を保つ、あるいは改善するために、川にゴミを捨てないなどの感想があり、川の水質を意識するきっかけとなったと思われる。 		
備考	岐阜県自然工法管理士(1人参加)				
記入者	所属：河川係	氏名：上野 公彦	電話番号(内線)	0575-33-4011(323)	

支援学校名	関市立武儀西小学校	担当教員名	杉下先生	対象学年・人数	4、5年生20名
実施日	7月13日(木)		実施場所	津保川(竹内医院付近 右岸)	
テーマ	カワゲラウォッチング、パックテストを通して津保川の環境について学ぶ	分類	治水・環境・砂防・安全啓発		
		連携機関			
学習内容①：津保川の様子、水生生物の生息の様子 小学校の近くを流れる津保川に実際に入って、河川水の透明度や水温、流速、河床材料、歩みにくさ等を体感し、カワゲラなどの水生生物を採捕した。		学習内容②：指標生物による津保川の水質判定 捕獲した水生生物を生物種ごとに分類し、指標生物をもとに、津保川の水質を判定した。			
					
学習内容③：パックテストによる津保川の水質判定 水道水と津保川の河川水をパックテスト(COD)により水質検査した。ジュースを水道水で希釈した水でもパックテストを実施し、水道水や津保川の水と比較した。		学習内容④：水難事故に合わないために 水難事故に合わないために心掛けたいことについて説明した。			
					
<p>【学習結果と考察】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・捕獲した生物は、カワゲラ、ヒラタカゲロウ、ヒラタドROMシ、ヒゲナガカワトビラなどであった。 ・指標生物による水質判定は、きれい～少しきかないという判定となった。 ・パックテストによる水質判定により、津保川の水はCODが2～3という結果となり、鮎などの水生生物が十分住める水質であることが分かった。 ジュースを薄めた水道水は、CODが8以上となり大変きかないという結果となった。 		<p>【土木事務所担当者の所感(当事業の成果等)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川に行く機会が多くなる夏休み前に川の危険性を学ぶことができた。 ・パックテストにおいてジュースを混ぜた水のCODが8以上という結果を受け、川にゴミを捨てないようにしたいといった感想や他のジュースではどうなるのかといった質問があり、川を大切にしたいきっかけになったと感じた。 			
備考					
記入者	所属：河川係	氏名：石原大輝	電話番号(内線)	0575-33-4011(323)	

支援学校名	関市立洞戸小学校	担当教員名	加藤先生	対象学年・人数	4年生10名
実施日	7月11日(火)		実施場所	板取川(洞戸橋下左岸河原)	
テーマ	カワゲラウォッチング、パックテストを通して板取川の環境について学ぶ	分類	治水・環境・砂防・安全啓発		
		連携機関			
学習内容①：板取川の様子、水生生物の生息の様子 小学校の近くを流れる板取川に実際に入って、河川水の水温や流速、歩きにくさ等を体感しつつ、捕獲した生物により板取川の水質を判定した。		学習内容②：パックテストによる板取川の水質判定 採取した河川水でパックテストを行った。河川水との比較として、ジュースを水道水で希釈した水でもパックテストを行った。			
					
学習内容③：水難事故に合わないために 水難事故に合わないために心掛けたいことについて説明した。		学習内容④：			
					
<p>【学習結果と考察】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・捕獲した生物は、カワゲラ、ヒラタカゲロウ、タニガワカゲロウ、などであった。 ・指標生物による板取川の水質は、「きれい」という判定となった。 ・河川水のCOD値は1程度であり、COD値が0であった水道水と同程度の水質であり、水質は良好であることが分かった。 ・水道水で1,000倍に希釈したジュースのCOD値は8以上であったことから、水道水や板取川の水とは全く異なる水質であったことが分かった。 		<p>【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全員が実際に川に入り、川を体感することができた。 ・ジュースを希釈した水は、魚等の生物は住めなくなることを知り、良好な板取川の環境を保つために今後気を付けようという感想が多くあった。 ・パックテストによる水質判定は、色や数値にあらわれることから、理解しやすかったと思われる。 ・分かりやすく伝えるために、できるだけ専門用語は使わず、平易な言葉を用いることを心がけた。 ・川に興味を持ってもらえると嬉しく思う。 			
備考	岐阜県自然工法管理士（1人参加）				
記入者	所属：河川係	氏名：上野 公彦	電話番号（内線）	0575-33-4011 (323)	

支援学校名	関市立上之保小学校	担当教員名	大口先生	対象学年・人数	4年生 8名
実施日	7月19日(水)		実施場所	津保川(和田野橋下流 左岸)	
テーマ	カワゲラウォッチング、パックテストを通して津保川の環境について学ぶ	分類	治水・環境・砂防・安全啓発		
		連携機関			
<p>学習内容①：津保川の様子、水生生物の生息の様子 小学校の近くを流れる津保川に実際に入って、河川水の透明度や水温、流速、河床材料、歩みにくさ等を体感し、カワゲラなどの水生生物を採捕した。</p>		<p>学習内容②：指標生物による津保川の水質判定 捕獲した水生生物を生物種ごとに分類し、指標生物をもとに、津保川の水質を判定した。</p>			
					
<p>学習内容③：パックテストによる津保川の水質判定 水道水と津保川の河川水をパックテスト(COD)により水質検査した。ジュースを水道水で希釈した水でもパックテストを実施し、水道水や津保川の水と比較した。</p>		<p>学習内容④：水難事故に合わないために 水難事故に合わないために心掛けたいことについて説明した。</p>			
					
<p>【学習結果と考察】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・捕獲した生物は、カワゲラ、ヒラタカゲロウ、ヒラタドROMシ、ヘビトンボ、ヒゲナガカワトビケラなどであった。 ・指標生物による水質判定は、きれい～少しきたないという判定となった。 ・パックテストによる水質判定により、津保川の水はCODが4という結果となった。数日前の大雨により、濁っていたと考えられる。 ・ジュースを薄めた水道水は、CODが8以上となり大変きたないという結果となった。 		<p>【土木事務所担当者の所感(当事業の成果等)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川に行く機会が多くなる夏休み前に川の危険性を学び、啓発できたことは大変よかった。 ・パックテストにおいてジュースを混ぜた水のCODが8以上という結果を受け、川にゴミを捨てないようにしたいといった感想があり、川を大切にする良いきっかけになったと感じた。 ・生物に関する質問が多くあり、川の生物に興味を持ってもらえた。 			
備考					
記入者	所属：河川係	氏名：石原大輝	電話番号(内線)	0575-33-4011 (323)	

支援学校名	関市立武儀東小学校	担当教員名	大野先生	対象学年・人数	4年生10名
実施日	10月11日(水)		実施場所	武儀東小学校理科室	
テーマ	パックテストを通して津保川の環境について学ぶ		分類	治水・環境・砂防・安全啓発	
			連携機関		
学習内容①：パックテストによる水質判定			学習内容②：パックテストの結果の比較		
水道水と津保川の水でパックテストを実施した。これらとの比較として、児童が家庭から持参した生活排水等でもパックテストを実施した。			水道水、津保川の水、児童が家庭から持参した水のCOD値を比較することで、それぞれの水質が異なることを学んだ。		
					
学習内容③：ジュースを希釈した水の水質判定			学習内容④：水難事故に合わないために		
ジュースを水道水で希釈した水でもパックテストを実施し、COD値を確認した。			水難事故に合わないために心掛けたいことについて説明した。		
					
<p>【学習結果と考察】</p> <ul style="list-style-type: none"> 津保川の水のCOD値は2で、COD値が1であった水道水と同程度の水質であり、津保川の水質は良好であることが分かった。 児童が持参した水のCOD値が6以上となった、人間が使用している液体や人間が飲んでいる水の水質は、水道水や津保川の水質と全く異なることを学んだ。 水道水で1,000倍に希釈したジュースのCOD値は8以上であったことから、水道水や津保川の水とは全く異なる水質であったことが分かった。 			<p>【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活排水等の生活に密着した水でパックテストをすることで、環境保全を身近に感じる事ができたと思う。 パックテストによる水質判定は、色や数値にあらわれることから、理解しやすかったと思われる。 ジュースを希釈した水は、魚等の生物は住めなくなることを知り、川の環境を保つために今後気を付けようという感想が多くあった。 分かりやすく伝えるために、できるだけ専門用語は使わず、平易な言葉を用いることが難しい。 川に興味を持ってもらえると嬉しく思う。 		
備考					
記入者	所属：河川係	氏名：宇田 将隆	電話番号（内線）	0575-33-4011 (323)	

支援学校名	郡上市立牛道小学校	担当教員名	山下、小島先生	対象学年・人数	1, 2年生 29名
実施日	5月12日(金)		実施場所	阿多岐ダム	
テーマ	阿多岐ダムについて ＝ようこそ あたぎダムへ＝		分類	治水・環境・砂防・安全啓発	
			連携機関	中部電力株式会社	
学習内容①：他人との挨拶、会話を通じてコミュニケーションを経験 挨拶、話の聞き方、会話を通じて、生徒と土木事務所職員間でのコミュニケーションがとれた。			学習内容②：阿多岐ダムのはたらきについて学ぶ 阿多岐ダムのはたらきや施設の必要性を学んでダムの大切さを学んだ。		
					
学習内容③：阿多岐ダム内部や施設を見学 堤体からダム湖を見てダムの規模の大きさや堤体内部に入り、温度差など堤体内・外部での違いを実感してもらえた。			学習内容④：電気について学ぶ 水力発電(電気の作り方)を中部電力職員が説明し電気の大切さを学んだ。		
					
【学習結果と考察】			【土木事務所担当者の所感(当事業の成果等)】		
<ul style="list-style-type: none"> 「ダムの内部を見学し、自然を利用したり自然の害を防ごうとしたりする人たちの工夫にきづく」「コミュニケーションの経験」「マナーを守って集団生活の楽しさを体験」という目的に対して、子供たちの反応を見る限り、達成出来た。 学校の身近にある阿多岐ダムが自分たちの生活を守っているということを認識できた。 通常入ることの出来ない堤体内部に入り、堤体からダム湖を見たりしてダムの大きさを実感できた。 			<ul style="list-style-type: none"> 小学1,2年生が対象であるため、難しい用語を使わないように説明や資料作成に工夫した。 学校からの要請があった「コミュニケーションの経験」「マナーを守って集団生活の楽しさを体験」については効果があったと考える。 発電事業に関して中部電力に協力して頂いた。今後も関係機関と一緒にダムについてPRしていきたい。 		
備考	5月23日(火)岐阜新聞(中濃版)に総合学習の記事が掲載される。【巻末資料84頁掲載】 郡上ケーブルテレビにて放送される。 岐阜県自然工法管理士(3人参加)				
記入者	所属：河川係	氏名：辻 篤志	電話番号(内線)	0575-67-1111 (344)	

支援学校名	郡上市立吉田小学校	担当教員名	南先生	対象学年・人数	5年生14名
実施日	5月19日(金)		実施場所	粥川(ふくべの里 粥川バンガロー村 前)	
テーマ	カワゲラウォッチングを通して粥川の環境について学ぶ		分類	治水・環境・砂防・安全啓発	
			連携機関		
学習内容①：川とのふれあい方を学ぶ 粥川に入る前に、川での安全な遊び方、川の歩き方、水生生物の採取の仕方等について学んだ。			学習内容②：水生生物の採取 粥川に入って水生生物を採取することで、水生生物がどのような場所に棲んでいるかわかった。		
					
学習内容③：水生生物の調査 採取した水生生物を調べることにより、様々な生物の名称を知ることができた。			学習内容④：各班の発表 グループごとに採取した水生生物を発表し、どんな生物が棲んでいるか、また指標生物(川の綺麗さの判断基準となる生物)により水質はどうであるかを学ぶことが出来た。		
					
【学習結果と考察】 <ul style="list-style-type: none"> 水生生物についてカゲロウ、カワゲラ、ヘビトンボ、ヒゲナガカワトビケラ等を採取した。 綺麗な水に棲む生物が多く、綺麗な水質と判断された。 様々な生物がいることがわかった。 綺麗な川を守れるようにしていきたい。 			【土木事務所担当者の所感(当事業の成果等)】 <ul style="list-style-type: none"> 川の中で水生生物を採取するときの生徒は生き生きしていました。 川の大切さが学べるよう努力していきたい。 川は楽しい所であるが、危険であることも理解してもらえた。 綺麗な川を守っていくにはどうしたらよいか考えて発表してもらった。 		
備考	子ども達から事前のお願いと感想の手紙をいただきました。【巻末資料85頁掲載】 岐阜県自然工法管理士(3人参加)				
記入者	所属：河川係	氏名：辻 篤志	電話番号(内線)	0575-67-1111(344)	

支援学校名	郡上市立八幡小学校	担当教員名	花井、山田先生	対象学年・人数	4年生43名
実施日	5月24日(水)		実施場所	小学校、小駄良川(清水橋上流)	
テーマ	「水のまち郡上八幡」 カワゲラウォッチングを通して川の 美しさを実感する		分類	治水・環境・砂防・安全啓発	
			連携機関		
学習内容①：川とのふれあい方を学ぶ DVD「安全な川遊びのために」を視聴し、川での安全な遊び方について学んだ。			学習内容②：CODパケットによる水質調査 吉田川、小駄良川の水、田の水、水路の水、風呂水、洗濯の水、ジュースのCODパケットを行った。		
					
学習内容③：水生生物の調査 川に入って水生生物を採取することで、水生生物がどのような場所に棲んでいるかわかった。採取した水生生物を調べることにより、様々な生物の名称を知ることができた。			学習内容④：各班の発表 グループごとに採取した水生生物を発表し、どんな生物が棲んでいるか、また指標生物(川の綺麗さの判断基準となる生物)により水質はどうであるかを学ぶことが出来た。		
					
【学習結果と考察】 <ul style="list-style-type: none"> 吉田川、小駄良川のCODは、0~4ppmであった。他の水と比較して川の水が綺麗であることがわかった。水でうすめることによりCODが下がることを学んだ。 水生生物についてカゲロウ、ヒゲナガカワトビケラ等を採取した。綺麗な水に棲む生物が多く、綺麗な水質と判断された。 綺麗な川を守れるようにしていきたい。 			【土木事務所担当者の所感(当事業の成果等)】 <ul style="list-style-type: none"> 川の中で水生生物を採取するときの生徒は生き生きしていました。 川の大切さが学べるよう努力していきたい。 川は楽しい所であるが、危険であることも理解してもらえた。 綺麗な川を守っていくにはどうしたらよいか考えて発表してもらった。 		
備考	子ども達から感想の手紙をいただきました。【巻末資料86頁掲載】 岐阜県自然工法管理士(6人参加)				
記入者	所属：河川係	氏名：辻 篤志	電話番号(内線)	0575-67-1111(344)	

支援学校名	郡上市立北濃小学校	担当教員名	大澤先生	対象学年・人数	3年生12名
実施日	6月9日(金)		実施場所	小学校、長良川(小学校付近)	
テーマ	河川の水質調査(カワゲラウォッチング、CODパックテスト)	分類	治水・環境・砂防・安全啓発		
		連携機関			
学習内容①：川について学ぶ 洪水、災害、治水対策や避難について学んだ。また、川での安全な遊び方について学んだ。			学習内容②：CODパックテストによる水質調査 長良川の水等のCODパックテストを行った。		
					
学習内容③：水生生物の調査 川に入って水生生物を採取することで、水生生物がどのような場所に棲んでいるかわかった。採取した水生生物を調べることにより、様々な生物の名称を知ることができた。			学習内容④：各班の発表 グループごとに採取した水生生物を発表し、どんな生物が棲んでいるか、また指標生物(川の綺麗さの判断基準となる生物)により水質はどうであるかを学ぶことが出来た。		
					
【学習結果と考察】 <ul style="list-style-type: none"> 長良川のCODは、他の水と比較して低く、川の水が綺麗であることがわかった。また、水でうすめることによりCODが下がることを学んだ。 水生生物についてカゲロウ、ヒゲナガカワトビケラ等を採取した。綺麗な水に棲む生物が多く、綺麗な水質と判断された。 綺麗な川を守れるようにしていきたい。 			【土木事務所担当者の所感(当事業の成果等)】 <ul style="list-style-type: none"> 川の中で水生生物を採取するときの生徒は生き生きしていました。 川の大切さが学べるよう努力していきたい。 川は楽しい所であるが、危険であることも理解してもらえた。 綺麗な川を守っていくにはどうしたらよいか考えて発表してもらった。 		
備考	6月10日(土)中日新聞(中濃版)に総合学習の記事が掲載される。【巻末資料88頁掲載】 岐阜県自然工法管理士(3人参加)				
記入者	所属：河川係	氏名：辻 篤志	電話番号(内線)	0575-67-1111(344)	

支援学校名	郡上市立大中小学校	担当教員名	花倉、古川先生	対象学年・人数	4年生18名
実施日	6月19日(月)		実施場所	小学校、長良川(大島橋下流)	
テーマ	カワゲラウォッチングを行い長良川の水質を調べる		分類	治水・環境・砂防・安全啓発	
			連携機関		
学習内容①：川とのふれあい方を学ぶ DVD「安全な川遊びのために」を視聴し、川での安全な遊び方について学んだ。			学習内容②：水生生物の採取 水生生物を採取することで、水生生物がどのような場所に棲んでいるかなどを学んだ。		
					
学習内容③：水生生物の調査 採取した水生生物を調べることにより、様々な生物の名称を知ることができた。			学習内容④：各班の発表 グループごとに採取した水生生物を発表し、どんな生物が棲んでいるか、また指標生物(川の綺麗さの判断基準となる生物)により水質はどうであるかを学ぶことが出来た。		
					
【学習結果と考察】 <ul style="list-style-type: none"> 水生生物については、カゲロウやヒゲナガカワトビケラを採取しました。綺麗な水に棲む生物が多く、綺麗な水質と判断された。 綺麗な水に棲む生物が多く、綺麗な水質と判断された。 綺麗な川を守れるようにしていきたい 			【土木事務所担当者の所感(当事業の成果等)】 <ul style="list-style-type: none"> 川の中で水生生物を採取するときの生徒は生き生きしていました。 川の大切さが学べるよう努力していきたい。 川は楽しい所であるが、危険であることも理解してもらえた。 綺麗な川を守っていくにはどうしたらよいか考えて発表してもらった。 		
備考	岐阜県自然工法管理士(3人参加)				
記入者	所属：河川係	氏名：辻 篤志	電話番号(内線)	0575-67-1111(344)	

支援学校名	郡上市立大和南小学校	担当教員名	瀧下先生	対象学年・人数	4年生17名
実施日	6月22日(木)		実施場所	小学校、栗巢川(徳永橋上流)	
テーマ	川のしくみについて学ぶとともに、ふるさとの川の水質の良さを知り、川を守っていこうという心情を持つ	分類	治水・環境・砂防・安全啓発		
		連携機関			
学習内容①：川について学ぶ 洪水、災害、治水対策や避難について学んだ。また、川での安全な遊び方について学んだ。			学習内容②：CODパケットによる水質調査 川で採取した水のCODパケットを行った。また、風呂水、米のとぎ汁も同様にパケットを行った。		
					
学習内容③：水生生物の調査 川に入って水生生物を採取することで、水生生物がどのような場所に棲んでいるかわかった。採取した水生生物を調べることにより、様々な生物の名称を知ることができた。			学習内容④：各班の発表 グループごとに採取した水生生物を発表し、どんな生物が棲んでいるか、また指標生物(川の綺麗さの判断基準となる生物)により水質はどうであるかを学ぶことが出来た。		
					
【学習結果と考察】 <ul style="list-style-type: none"> 栗巢川のCODは、0~4ppmであった。他の水と比較して川の水が綺麗であることがわかった。水でうすめることによりCODが下がることを学んだ。 水生生物についてカゲロウ、ヒゲナガカワトビケラ等を採取した。綺麗な水に棲む生物が多く、綺麗な水質と判断された。 綺麗な川を守れるようにしていきたい。 			【土木事務所担当者の所感(当事業の成果等)】 <ul style="list-style-type: none"> 水質調査では、生活排水(風呂水や米のとぎ汁)と栗巢川の水と比較し、川の水の綺麗さに驚いている生徒がいました。 川の中で水生生物を採取するときの生徒は生き生きしていました。 川は楽しい所であるが、危険であることも理解してもらえた。 綺麗な川を守っていくにはどうしたらよいか考えて発表してもらった。 		
備考	子ども達から感想の手紙をいただきました。【巻末資料89頁掲載】 岐阜県自然工法管理士(3人参加)				
記入者	所属：河川係	氏名：辻 篤志	電話番号(内線)	0575-67-1111(344)	

支援学校名	郡上市立高鷲小学校 海津市立東江小学校	担当教員名	増田先生 加藤先生	対象学年・人数	4年生 8名(高鷲) 11名(東江)
実施日	6月23日(金)		実施場所	八百僧谷(長良川合流点)	
テーマ	八百僧谷(長良川合流点)の水生物調査		分類	治水・環境・砂防・安全啓発	
			連携機関	国土交通省木曾川下流河川工事事務所	
学習内容①：両校対面式 高鷲小と東江小の対面式を行い、河川調査の注意事項を学んだ。			学習内容②：水生物の調査 両校で班を組み、一緒に水生物の捕獲を行った。		
					
学習内容③：水生物の確認 捕獲した水生物を確認し、上流部の水質のきれいさを確認した。					
					
【学習結果と考察】 ・ 長良川の上流と下流の小学校で同時に実施したため、上流の河川の違いについて、学ぶことができた。			【土木事務所担当者の所感(当事業の成果等)】 ・ H27年度より実施している、高鷲小と東江小合同の河川学習を継続して行うことができた。		
備考	6月30日(金)中日新聞中濃版に掲載されました。【巻末資料90頁掲載】				
記入者	所属：砂防係	氏名：伊藤達也	電話番号(内線)	0575-67-1111(341)	

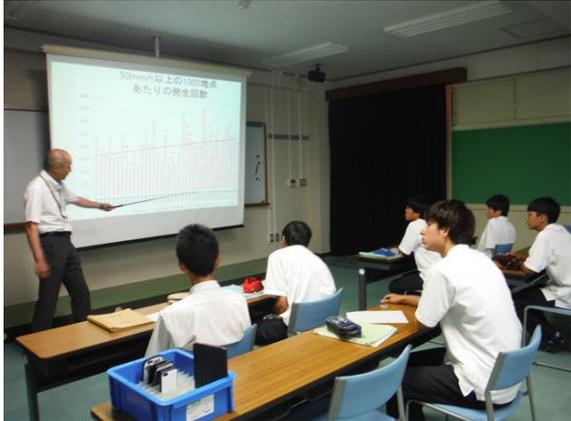
支援学校名	郡上市立明宝小学校 小川小学校	担当教員名	吉田先生	対象学年・人数	4年生10名 4年生 3名
実施日	9月22日(金)		実施場所	教室	
テーマ	砂防えん堤の役割と 土砂災害に対する備えについて		分類	治水・環境・ 砂防 ・安全啓発	
			連携機関		
学習内容①：砂防えん堤の役割について学ぶ 土砂災害のビデオにより土砂災害の恐ろしさと砂防えん堤の役割について学んだ。			学習内容②：土砂災害への対応について ハザードマップを使って、自分の家や近所の土砂災害の危険性を調べた。		
					
学習内容③：模型による土石流のしくみを体験 模型を用いて土石流の仕組みや砂防えん堤の効果を学習した。また、班ごとにビーズ土石流を発生させ、えん堤の効果を体感した。			学習内容④：		
					
【学習結果と考察】 <ul style="list-style-type: none"> 土石流の映像を見ることでその怖さを知り、えん堤の必要性を学んだ。 模型実験を通じて、砂防えん堤の効果を理解することができた。 自分たちの生活が砂防えん堤によって守られていることや土砂災害に対して日ごろからの備えが大切であることが理解できた。 			【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】 <ul style="list-style-type: none"> 土石流の映像や模型実験により土石流について学習し、砂防えん堤の必要性を理解することができた。 土砂災害に対して、日ごろから備えておくべきことを理解できたと思う。 		
備考	子供たちから感想の手紙をいただきました。【巻末資料91頁掲載】				
記入者	所属：砂防係	氏名：伊藤達也	電話番号（内線）	0575-67-1111 (341)	

支援学校名	郡上市立和良小学校	担当教員名	山之内先生	対象学年・人数	5年生13名
実施日	1月30日(火)		実施場所	教室	
テーマ	砂防えん堤の役割と 土砂災害に対する備えについて		分類	治水・環境・ 砂防 ・安全啓発	
			連携機関		
学習内容①：砂防えん堤の役割について学ぶ 土砂災害のビデオにより土砂災害の恐ろしさと砂防えん堤の役割について学んだ。			学習内容②：土砂災害への対応について 土砂災害の前ぶれや、災害にあわないための日ごろの準備について学んだ。		
					
学習内容③：模型による土石流のしくみを体験 模型を用いて土石流の仕組みや砂防えん堤の効果を学習した。また、班ごとにビーズ土石流を発生させ、えん堤の効果を体感した。			学習内容④：		
					
【学習結果と考察】 <ul style="list-style-type: none"> 土石流の映像を見ることでその怖さを知り、えん堤の必要性を学んだ。 模型実験を通じて、砂防えん堤の効果を理解することができた。 自分たちの生活が砂防えん堤によって守られていることや土砂災害に対して日ごろからの備えが大切であることが理解できた。 			【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】 <ul style="list-style-type: none"> 土石流の映像や模型実験により土石流について学習し、砂防えん堤の必要性を理解することができた。 土砂災害に対して、日ごろから備えておくべきことを理解できたと思う。 		
備考	1月31日(水)中日新聞(中濃版)に記事が掲載されました。【巻末資料92頁掲載】				
記入者	所属：砂防係	氏名：伊藤達也	電話番号(内線)	0575-67-1111(341)	

支援学校名	八百津町立和知小学校	担当教員名	室屋先生	対象学年・人数	4年生30名
実施日	5月26(金)、29(月)、6月2日(金)		実施場所	石川	
テーマ	「川にすむ生物や水質を調べて今の石川の姿を知る」		分類	治水・環境・砂防・安全啓発	
			連携機関		
<p>学習内容①：川について学ぶ</p> <p>石川にすんでいる生物や水質について学んだ。また、洪水や土砂崩れの映像を見ることで災害の恐ろしさを学んだ。</p>			<p>学習内容②：水質を調べる</p> <p>パックテストを行い、石川の水、水道水、しょうゆ、コーヒを薄めた水の水質を比較した。</p>		
					
<p>学習内容③：カワゲラウォッチング</p> <p>石川に入って生物を採取し、どんなところにどんな生物がいるのかを学んだ。また、上下流2地点で採取を行うことにより、場所による生物の違いも観察した。</p>			<p>学習内容④：カワゲラウォッチング</p> <p>石川に生息する生物を採取し、集計・分類を行い、生物に対する理解を深めた。採取した生物から、水質判定表を用いて石川の水質を判定した。</p>		
					
<p>【学習結果と考察】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ COD（低濃度）の値は、石川の水が 0~4ppm、しょうゆを薄めた水、コーヒを薄めた水が 8ppm となった。 ・ 洪水や土砂崩れの映像により、災害の恐ろしさと早めの避難が大切であることを理解してもらえた。 			<p>【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図鑑等をつかって、捕まえた生物の名前を調べるなど、積極性がみられた。 ・ 上流と下流の2地点で観察を行い、生物の違いを観察できた。 ・ パックテストや捕まえた生物から川の水質を判断することで、河川環境に対する理解が得られた。 		
備考					
記入者	所属：河川砂防係	氏名：平野 湧也	電話番号（内線）	0574-25-3111 (325)	

支援学校名	可児市立広見小学校	担当教員名	丹羽先生	対象学年・人数	5年生143名
実施日	6月6日(火)		実施場所	広見小学校	
テーマ	「2010年7月15日に起きた可児川の災害について」		分類	治水・環境・砂防・安全啓発	
			連携機関		
学習内容①：スライドによる説明 平成22年度に洪水被害を受けた地区の小学校において防災学習を行い、当時の被害状況や今後の災害への備え等について説明した。			学習内容②：スライドによる説明 被災当時や復旧工事の写真を見せることで災害の怖さを認識してもらおうと同時に災害から身を守るための方法を学んだ。		
					
学習内容③：児童による家族の体験談の発表 災害の状況を家族から聞いた児童に当時の様子を発表してもらい、より身近な出来事として学んだ。			学習内容④：ハザードマップと講義の感想 今後の授業で取り組むハザードマップ作りについて、作成方法やポイントを説明した。また、今回の講義について、児童が感想を発表した。		
					
【学習結果と考察】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 災害当時や復旧工事の写真を用いて説明し、「災害はなぜ起きたのか」「災害から身を守るには」などの理解を深められた。 ・ 児童が家族から聞いた話を語ることで、自身の行動や意識を再確認してもらった。 ・ 講義での説明・家族からの聞き取り・級友からの発表という3つの要素により、効果的に災害や防災のことを学習できた。 			【土木事務所担当者の所感(当事業の成果等)】 <ul style="list-style-type: none"> ・ メモを取る児童が多くみられ、興味をもって講義を聴いてもらった。 ・ 体験談や感想の発表では、家族からの聞き取りを多数の児童に発表してもらい、災害について関心を持ってもらった。 ・ 今後、授業で行うハザードマップ作りによって地元の危険箇所や避難所等の把握につなげたい。 		
備考	6月7日(水)岐阜新聞に記事が掲載されました。【巻末資料93頁掲載】				
記入者	所属：河川砂防係	氏名：青木 大介	電話番号(内線)	0574-25-3111 (325)	

支援学校名	七宗町立神淵小学校	担当教員名	杉山先生	対象学年・人数	4年生14名
実施日	6月14日(水)		実施場所	神淵川	
テーマ	「川にすむ生物や水質を調べて今の神淵川の姿を知る」		分類	治水・環境・砂防・安全啓発	
			連携機関	七宗町農林建設課	
学習内容①：川について学ぶ 神淵川にすんでいる生物や水質のこと、川の水質によってすんでいる生物が異なることについてクイズを交えて学んだ。			学習内容②：水質を調べる パックテストを行い、神淵川の水、水道水、しょうゆ、コーヒーを薄めた水の水質を比較した。		
					
学習内容③：カワゲラウォッチング 学校付近の神淵川に入って生物を採取し、どんなところにどんな生物がすんでいるのかを学んだ。			学習内容④：カワゲラウォッチング 採取した生物の同定や集計・分類を行い、生物に対する理解を深めた。		
					
【学習結果と考察】 <ul style="list-style-type: none"> トビケラ、カワニナやヒラタドROMシなどが多く生息しており、水質はややきれいな水(Ⅱ)となった。 COD(低濃度)の値は、神淵川、水道水が0~2ppm、しょうゆを薄めた水、コーヒーを薄めた水が8ppmとなった。 ごくわずかな汚れであっても、水質に大きく影響することがパックテストを通じて児童にも伝わったと思う。 			【土木事務所担当者の所感(当事業の成果等)】 <ul style="list-style-type: none"> 図鑑等をつかって、捕まえた生物の名前を調べるなど、積極性がみられた。 水質判定表を用いて、捕まえた生物から川の水質を判断することができていた。 室内で予習をした上で生物を採取するという体験は児童にとっても新鮮だったようで、授業の有意義さを感じられた。 		
備考					
記入者	所属：河川砂防係	氏名：平野 湧也	電話番号(内線)	0574-25-3111(325)	

支援学校名	岐阜県立東濃高等学校	担当教員名	安藤先生	対象学年・人数	2年生6名
実施日	7月10日(月)		実施場所	岐阜県立東濃高等学校	
テーマ	「土砂災害から学ぶ、災害にそなえる」		分類	治水・環境・砂防・安全啓発	
			連携機関		
学習内容①：平成22・23年度の災害について 平成22・23年度に可茂地域で発生した災害の状況について、当時の新聞や写真を用いて学んだ。			学習内容②：土砂災害について 土石流・がけ崩れ・地すべりの特徴や発生のメカニズムについて学んだ。		
					
学習内容③：災害復旧・防止工事について 災害後の各種復旧工事や、土砂災害を防ぐための砂防堰堤・地すべり対策・急傾斜地崩壊対策・護岸工などの役割を学んだ。			学習内容④：災害から生命財産を守るために ハザードマップや土砂災害警戒区域についての説明で、避難の方法や危険な箇所を知ることができた。		
					
【学習結果と考察】 <ul style="list-style-type: none"> 過去に可茂地域で災害が発生したこと、その後の復旧工事について学んだ。 当時の写真や新聞記事を通じて、「何が起きたのか」「なぜ起きたのか」などの理解を深められた。 河川のライブカメラやアラームメールなど、情報収集の方法と、いち早く危険を察知し避難することの大切さを学んだ。 			【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】 <ul style="list-style-type: none"> 土石流・がけ崩れ・地すべりの違いや災害復旧の方法等、災害について多くのことを知ってもらえた。 過去の災害を知ることで、生徒たちの防災意識を高めるきっかけとなった。 九州北部豪雨の直後であり、災害への関心が高く興味を持ってもらえた。 		
備考	岐阜県自然工法管理士（1人参加）				
記入者	所属：河川砂防係	氏名：青木 大介	電話番号（内線）	0574-25-3111（325）	

支援学校名	美濃加茂市立山手小学校	担当教員名	松岡先生	対象学年・人数	5年生107名
実施日	1月29日(月)		実施場所	山手小学校	
テーマ	「自然災害について」		分類	治水・環境・砂防・安全啓発	
			連携機関		
学習内容①：自然災害について学ぶ 説明の前に自然災害について児童に知っていることを発表してもらい、事前に児童の知識を確認した。			学習内容②：洪水について学ぶ 木曾川・加茂川の洪水について、当時の写真を用いて被害の恐ろしさを学ぶとともに、丸山ダムや排水機場、築堤等河川改修工事のハード対策について学んだ。		
					
学習内容③：土砂災害について学ぶ 土石流、がけ崩れ、地滑りについて、被災映像を見せながら土砂災害の恐ろしさについて学んだ。			学習内容④：災害にそなえるために 堰堤、護岸、擁壁工等のハード対策とアラームメール等ソフト対策についての説明を通じて、土砂災害から身を守るための方法を学んだ。		
					
【学習結果と考察】 ・ 洪水被害について、当時の写真を用いた説明で、被災状況や発生メカニズムについて理解するとともに、その対策について学んだ。 ・ 土石流、がけ崩れ、地滑りについて、被災映像を見せることで土砂災害の恐ろしさや危険性について学習し、ハード対策とソフト対策の必要性について理解を深められた。			【土木事務所担当者の所感(当事業の成果等)】 ・ 児童が洪水についての当時の写真や土砂災害の被災映像に興味を示して聴講しており、防災学習について関心の高さが伝わった。 ・ 山手小学校は比較的災害の危険が少ない土地に立地している。そのため、今回の災害学習は児童に危機感を持ってもらうのに効果的だった。		
備 考					
記入者	所属：河川砂防係	氏名：平野 湧也	電話番号(内線)	0574-25-3111(324)	

支援学校名	多治見市立滝呂小学校	担当教員名	竹内先生	対象学年・人数	5年生96名
実施日	5月16日(火)		実施場所	笠原川	
テーマ	「河川環境を学ぶ」 川の現状や川とのふれあい方を学ぶ。		分類	治水・環境・砂防・安全啓発	
			連携機関	多治見市土岐川観察館	
学習内容①：川とのふれあい方を学ぶ 水生生物がどんな場所にいるのか、川の形状はどうなっているのか、どんな場所が危険なのかを実際に体験しながら川の大切さを学んだ。			学習内容②：川の水質を知る 川で採取した水の水質(pH、透視度、COD)を検査し、同場所で採取した水生生物の種類の間方から、川がどの程度きれいなのかを学び発表した。		
					
学習内容③：川の生態を学ぶ 川で採取した水生生物を種類ごとに分け、個々の生物の名称や特徴を調べ、身近な川にどんな生き物がどれくらいどうやって生息しているかを学んだ。			学習内容④：川の危険性について 降雨による増水、川の形状による急な深さや流れの変化等川に潜む危険、また治水の必要性について学んだ。		
					
【学習結果】 ・ 採取した水生生物 11種類 オイカワ、カワムツ、カワヨシノボリ、アブラハヤ、ドジョウ、モツゴ、コオニヤンマ、サワガニ、アメリカザリガニ、ヒラタドROMシ、コヤマトンボ			【土木事務所担当者の所感(当事業の成果等)】 ・ 子供たちに魚の捕まえ方をアドバイスでき、嬉々として総合学習に取り組んでおり、川に対して興味や好奇心をもってもらえたと思う。 ・ 流速が早いところや水深が深いところがあり、足がすくわれて転倒しないように気を付けた。		
備考	岐阜県自然工法管理士(1人参加)				
記入者	所属：河川砂防係	氏名：加納 豊史	電話番号(内線)	0572-23-1111(318)	

支援学校名	土岐市立濃南小学校	担当教員名	堀部先生	対象学年・人数	4年生18名
実施日	5月18日(木)		実施場所	肥田川(学校前)	
テーマ	「河川環境を学ぶ」 川の現状や川とのふれあい方を学ぶ。		分類	治水・環境・砂防・安全啓発	
			連携機関	多治見市土岐川観察館	
学習内容①：川とのふれあい方を学ぶ 水生生物がどんな場所にいるのか、川の形状はどうなっているのか、どんな場所が危険なのかを実際に体験しながら川の大切さを学んだ。			学習内容②：川の水質を知る 川で採取した水の水質(pH、透視度、COD)を検査し、同場所で採取した水生生物の種類の間方から、川がどの程度きれいなのかを学び発表した。		
					
学習内容③：川の生態を学ぶ 川で採取した水生生物の種類ごとに分け、個々の生物の名称や特徴を調べ、身近な川にどんな生き物がどれくらいどうやって生息しているかを学んだ。			学習内容④：川の危険性について 降雨による増水、川の形状による急な深さや流れの変化等川に潜む危険、また治水の必要性について学んだ。		
					
【学習結果】 <ul style="list-style-type: none"> pH 6.0 ・透視度 38.5m COD 10 採取した水生生物 カワムツ、アブラハヤ、ホトケドジョウ、カワヨシノボリ、サワガニ、オニヤンマ、カワナ、ガガンボ、トビゲラ 			【土木事務所担当者の所感(当事業の成果等)】 <ul style="list-style-type: none"> 一人一人に時間をかけて生物の捕まえ方等を教えることができた。 河川にある構造物が私たちの命や財産を守る役割を果たしているということ、写真を用いながら説明した。子供たちも真剣に話を聞いており、理解してくれたと思う。 夢中で水生生物を捕まえており、楽しみながら学ぶことができた。 		
備考	岐阜県自然工法管理士(1人参加)				
記入者	所属：河川砂防係	氏名：加納 豊史	電話番号(内線)	0572-23-1111(318)	

支援学校名	多治見市立共栄小学校	担当教員名	加藤先生	対象学年・人数	3年生69名
実施日	5月23日(火)		実施場所	高田川	
テーマ	「河川環境を学ぶ」 川の現状や川とのふれあい方を学ぶ。		分類	治水・環境・砂防・安全啓発	
			連携機関	多治見市土岐川観察館	
学習内容①：川とのふれあい方を学ぶ 水生生物がどんな場所にいるのか、川の形状はどうなっているのか、どんな場所が危険なのかを実際に体験しながら川の大切さを学んだ。			学習内容②：川の水質を知る 川で採取した水の水質（pH、透視度、COD）を検査し、同場所で採取した水生生物の種類の間方から、川がどの程度きれいなのかを学び発表した。		
					
学習内容③：川の生態を学ぶ 川で採取した水生生物を種類ごとに分け、個々の生物の名称や特徴を調べ、身近な川にどんな生き物がどれくらいどうやって生息しているかを学んだ。			学習内容④：川の危険性について 降雨による増水、川の形状による急な深さや流れの変化等川に潜む危険、また治水の必要性について学んだ。		
					
【学習結果】 ・ pH 8.0 ・透視度 87.0m ・ COD 10 ・ 採取した水生生物 カワムツ、カワヨシノボリ、メダカ、オイカワ、アメリカザリガニ、ヘビトンボ、コオニヤンマ、ウシガエル、サワガニ、アメンボ、ミナミヌマエビ			【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】 ・ 河床がコンクリートになっている部分があり、滑りやすいので注意するように呼びかけを行った。 ・ 雨が降ったら、3日間は川へ近づかないようにする等川へ入る時の注意点を説明した。 ・ 子供たちも真剣に話を聞いており、理解してくれたと思う。		
備考	岐阜県自然工法管理士（1人参加）				
記入者	所属：河川砂防係	氏名：加納 豊史	電話番号（内線）	0572-23-1111 (318)	

支援学校名	土岐市立肥田小学校	担当教員名	田口先生	対象学年・人数	2年生50名
実施日	5月31日(水)		実施場所	肥田川	
テーマ	「河川環境を学ぶ」 川の現状や川とのふれあい方を学ぶ。		分類	治水・環境・砂防・安全啓発	
			連携機関	多治見市土岐川観察館	
学習内容①：川とのふれあい方を学ぶ 水生生物がどんな場所にいるのか、川の形状はどうなっているのか、どんな場所が危険なのかを実際に体験しながら川の大切さを学んだ。			学習内容②：川の水質を知る 川で採取した水の水質（pH、透視度、COD）を検査し、同場所で採取した水生生物の種類の方から、川がどの程度きれいなのかを学び発表した。		
					
学習内容③：川の生態を学ぶ 川で採取した水生生物を種類ごとに分け、個々の生物の名称や特徴を調べ、身近な川にどんな生き物がどれくらいどうやって生息しているかを学んだ。			学習内容④：川の危険性について 降雨による増水、川の形状による急な深さや流れの変化等川に潜む危険、また治水の必要性について学んだ。		
					
【学習結果】 ・ pH 7.0 ・透視度 83.0m ・ COD 10 ・ 採取した水生生物 カワムツ、オイカワ、アブラハヤ、カワヨシノボリ、ミナミヌマエビ、アメリカザリガニ、コオニヤンマ、コヤマトンボ、ハグロトンボ、トノサマガエル、ウシガエル			【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】 ・ 多治見土木事務所では、河川工事をする際には事前に生物保護活動を行う等、工事をする際にどれだけ自然に配慮しているかを説明した。 ・ 上流と下流に分かれて学習を行うため、子供たちを見落とすことがないように注意した。 ・ 夢中で水生生物を捕まえており、楽しみながら学ぶことができた。		
備考	岐阜県自然工法管理士（1人参加）				
記入者	所属：河川砂防係	氏名：加納 豊史	電話番号（内線）	0572-23-1111 (318)	

支援学校名	多治見市立根本小学校	担当教員名	今井先生	対象学年・人数	4年生105名
実施日	6月9日(金)		実施場所	大原川	
テーマ	「河川環境を学ぶ」 川の現状や川とのふれあい方を学ぶ。		分類	治水・環境・砂防・安全啓発	
			連携機関	多治見市土岐川観察館	
学習内容①：川とのふれあい方を学ぶ 水生生物がどんな場所にいるのか、川の形状はどうなっているのか、どんな場所が危険なのかを実際に体験しながら川の大切さを学んだ。			学習内容②：川の水質を知る 川で採取した水の水質(pH、透視度、COD)を検査し、同場所で採取した水生生物の種類の方から、川がどの程度きれいなのかを学び発表した。		
					
学習内容③：川の生態を学ぶ 川で採取した水生生物を種類ごとに分け、個々の生物の名称や特徴を調べ、身近な川にどんな生き物がどれくらいどうやって生息しているかを学んだ。			学習内容④：川の危険性について 降雨による増水、川の形状による急な深さや流れの変化等川に潜む危険、また治水の必要性について学んだ。		
					
【学習結果】 ・ pH 6.5 ・透視度 21.0m ・ COD 10 ・ 採取した水生生物 カワムツ、カワヨシノボリ、ドジョウ、オイカワ、ミナミヌマエビ、アメリカザリガニ、コオニヤンマ、セスジユスリカ、ハグロトンボ、ヒル、サワガニ			【土木事務所担当者の所感(当事業の成果等)】 ・ 川は楽しい反面、注意点を守らないと命を落とす可能性があることを伝えた。子供たちは真剣な表情で話を聞いており、理解してくれたと思う。 ・ 川幅が狭く足場も悪いので、子供たちが怪我をしないように注意した。 ・ 夢中で水生生物を捕まえており、楽しみながら学ぶことができた。		
備考	岐阜県自然工法管理士(1人参加)				
記入者	所属：河川砂防係	氏名：加納 豊史	電話番号(内線)	0572-23-1111 (318)	

支援学校名	瑞浪市立明世小学校	担当教員名	尾崎先生	対象学年・人数	5年生20名
実施日	6月13日(火)		実施場所	狭間川	
テーマ	「河川環境を学ぶ」 川の現状や川とのふれあい方を学ぶ。		分類	治水・環境・砂防・安全啓発	
			連携機関	多治見市土岐川観察館	
学習内容①：川とのふれあい方を学ぶ 水生生物がどんな場所にいるのか、川の形状はどうなっているのか、どんな場所が危険なのかを実際に体験しながら川の大切さを学んだ。			学習内容②：川の水質を知る 川で採取した水の水質(pH、透視度、COD)を検査し、同場所で採取した水生生物の種類の方から、川がどの程度きれいなのかを学び発表した。		
					
学習内容③：川の生態を学ぶ 川で採取した水生生物を種類ごとに分け、個々の生物の名称や特徴を調べ、身近な川にどんな生き物がどれくらいどうやって生息しているかを学んだ。			学習内容④：川の危険性について 降雨による増水、川の形状による急な深さや流れの変化等川に潜む危険、また治水の必要性について学んだ。		
					
【学習結果】 <ul style="list-style-type: none"> pH 8.0 ・透視度 84.0m COD 7.0 採取した水生生物 オイカワ、カワムツ、カワヨシノボリ、ミナミヌマエビ、アメリカザリガニ、ハグロトンボ、カワニナ、チリメンカワニナ、サワガニ、ハグロトンボ、コオニヤンマ、スジエビ、タモロコ 			【土木事務所担当者の所感(当事業の成果等)】 <ul style="list-style-type: none"> 河川にある構造物が私たちの命や財産を守る役割を果たしているということ、写真を用いながら説明した。子供たちも真剣に話を聞いており、理解してくれたと思う。 夢中で水生生物を捕まえており、楽しみながら学ぶことができた。 		
備考	岐阜県自然工法管理士(1人参加)				
記入者	所属：河川砂防係	氏名：加納 豊史	電話番号(内線)	0572-23-1111 (318)	

支援学校名	多治見市立精華小学校	担当教員名	宇佐美先生	対象学年・人数	5年生137名
実施日	6月15日(木)		実施場所	大原川	
テーマ	「河川環境を学ぶ」 川の現状や川とのふれあい方を学ぶ。		分類	治水・環境・砂防・安全啓発	
			連携機関	多治見市土岐川観察館	
学習内容①：川とのふれあい方を学ぶ 水生生物がどんな場所にいるのか、川の形状はどうなっているのか、どんな場所が危険なのかを実際に体験しながら川の大切さを学んだ。			学習内容②：川の水質を知る 川で採取した水の水質(pH、透視度、COD)を検査し、同場所で採取した水生生物の種類の方から、川がどの程度きれいなのかを学び発表した。		
					
学習内容③：川の生態を学ぶ 川で採取した水生生物を種類ごとに分け、個々の生物の名称や特徴を調べ、身近な川にどんな生き物がどれくらいどうやって生息しているかを学んだ。			学習内容④：川の危険性について 降雨による増水、川の形状による急な深さや流れの変化等川に潜む危険、また治水の必要性について学んだ。		
					
【学習結果】 ・ pH ・ 透視度 ・ COD ・ 採取した水生生物			【土木事務所担当者の所感(当事業の成果等)】 ・ 子供たちが水深の深いや流速の早い所に行かないように誘導した。 ・ 河川工事は、人の財産や命を守るために必要であるということを、実際の洪水時の写真等を見せながら説明した。 子供たちも真剣に話を聞いており、理解してくれたと思う。		
備考	岐阜県自然工法管理士(1人参加)				
記入者	所属：河川砂防係	氏名：加納 豊史	電話番号(内線)	0572-23-1111(318)	

支援学校名	瑞浪立土岐小学校	担当教員名	小栗先生	対象学年・人数	5年生53名
実施日	6月16日(金)		実施場所	土岐川	
テーマ	「河川環境を学ぶ」 川の現状や川とのふれあい方を学ぶ。		分類	治水・環境・砂防・安全啓発	
			連携機関	多治見市土岐川観察館	
学習内容①：川とのふれあい方を学ぶ			学習内容②：川の水質を知る		
水生生物がどんな場所にいるのか、川の形状はどうなっているのか、どんな場所が危険なのかを実際に体験しながら川の大切さを学んだ。			川で採取した水の水質(pH、透視度、COD)を検査し、同場所で採取した水生生物の種類の方から、川がどの程度きれいなのかを学び発表した。		
					
学習内容③：川の生態を学ぶ			学習内容④：川の危険性について		
川で採取した水生生物を種類ごとに分け、個々の生物の名称や特徴を調べ、身近な川にどんな生き物がどれくらいどうやって生息しているかを学んだ。			降雨による増水、川の形状による急な深さや流れの変化等川に潜む危険、また治水の必要性について学んだ。		
					
【学習結果】			【土木事務所担当者の所感(当事業の成果等)】		
<ul style="list-style-type: none"> pH 7.0 透視度 42.0m COD 10 採取した水生生物 カワムツ、サワガニ、シマドジョウ、カワヨシノボリ、ミナミヌマエビ、アメリカザリガニ、コオニヤンマ、ハグロトンボ、ヒゲナガカワトビゲラ、ヒラタドROMシ 			<ul style="list-style-type: none"> 土岐川本川と水辺の楽校の2か所に分かれて学習を行った。魚道の役割等を説明した。 川は雨が降ると急に増水することがあるため、雨が降った時や降りそうなときは、川に近づかないように説明した。 夢中で水生生物を捕まえており、楽しみながら学ぶことができた。 		
備考	6月20日(火)岐阜新聞(東濃版)に総合学習の記事が掲載される。【巻末資料94頁掲載】 岐阜県自然工法管理士(1人参加)				
記入者	所属：河川砂防係	氏名：加納 豊史	電話番号(内線)	0572-23-1111(318)	

支援学校名	多治見市立共栄小学校	担当教員名	加藤先生	対象学年・人数	3年生69名
実施日	6月27日(火)		実施場所	高田川	
テーマ	「河川環境を学ぶ」 川の現状や川とのふれあい方を学ぶ。		分類	治水・環境・砂防・安全啓発	
			連携機関	多治見市土岐川観察館	
学習内容①：川とのふれあい方を学ぶ			学習内容②：川の水質を知る		
水生生物がどんな場所にいるのか、川の形状はどうなっているのか、どんな場所が危険なのかを実際に体験しながら川の大切さを学んだ。			川で採取した水の水質(pH、透視度、COD)を検査し、同場所で採取した水生生物の種類の方から、川がどの程度きれいなのかを学び発表した。		
					
学習内容③：川の生態を学ぶ			学習内容④：川の危険性について		
川で採取した水生生物を種類ごとに分け、個々の生物の名称や特徴を調べ、身近な川にどんな生き物がどれくらいどうやって生息しているかを学んだ。			降雨による増水、川の形状による急な深さや流れの変化等川に潜む危険、また治水の必要性について学んだ。		
					
【学習結果】			【土木事務所担当者の所感(当事業の成果等)】		
<ul style="list-style-type: none"> pH 8.0 ・透視度 94.0m COD 10 採取した水生生物 カワムツ、オイカワ、カワヨシノボリ、ミナミヌマエビ、メダカ、スジエビ、コオニヤンマ、ハグロトンボ、ヒゲナガカワトビゲラ、コヤマトンボ 			<ul style="list-style-type: none"> 河床がコンクリートになっている部分があり、滑りやすいので注意するように呼びかけを行った 川は雨が降ると急に増水することがあるため、雨が降った時や降りそうなきは、川に近づかないように説明した。 夢中で水生生物を捕まえており、楽しみながら学ぶことができた。 		
備考	岐阜県自然工法管理士(1人参加)				
記入者	所属：河川砂防係	氏名：加納 豊史	電話番号(内線)	0572-23-1111 (318)	

支援学校名	多治見市立共栄小学校	担当教員名	青木先生	対象学年・人数	4年生64名
実施日	6月29日(木)		実施場所	高田川	
テーマ	「河川環境を学ぶ」 川の現状や川とのふれあい方を学ぶ。		分類	治水・環境・砂防・安全啓発	
			連携機関	多治見市土岐川観察館	
学習内容①：川とのふれあい方を学ぶ 水生生物がどんな場所にいるのか、川の形状はどうなっているのか、どんな場所が危険なのかを実際に体験しながら川の大切さを学んだ。			学習内容②：川の水質を知る 川で採取した水の水質(pH、透視度、COD)を検査し、同場所で採取した水生生物の種類の方から、川がどの程度きれいなのかを学び発表した。		
					
学習内容③：川の生態を学ぶ 川で採取した水生生物を種類ごとに分け、個々の生物の名称や特徴を調べ、身近な川にどんな生き物がどれくらいどうやって生息しているかを学んだ。			学習内容④：川の危険性について 降雨による増水、川の形状による急な深さや流れの変化等川に潜む危険、また治水の必要性について学んだ。		
					
【学習結果】 ・ pH 7.5 ・透視度 73m ・ COD 8 ・ 採取した水生生物 ミナミヌマエビ、アメリカザリガニ、スジエビ、コオニヤンマ、コヤマトンボ、ハグロトンボ、ウシガエル、ヘビトンボ、ヒゲナガカワトビゲラ			【土木事務所担当者の所感(当事業の成果等)】 ・ 河川の工事はたしかに生物にとって生息しづらい環境を作ってしまうことになるかもしれないが、人の命や財産を守るうえでなくてはならないものであるということ写真等で説明した。 ・ 夢中で水生生物を捕まえており、楽しみながら学ぶことができた。		
備考	岐阜県自然工法管理士(1人参加)				
記入者	所属：河川砂防係	氏名：加納 豊史	電話番号(内線)	0572-23-1111 (318)	

支援学校名	多治見市立市之倉小学校	担当教員名	加藤先生	対象学年・人数	5年生50名
実施日	6月29日(木)		実施場所	市之倉川	
テーマ	「河川環境を学ぶ」 川の現状や川とのふれあい方を学ぶ。		分類	治水・環境・砂防・安全啓発	
			連携機関	多治見市土岐川観察館	
学習内容①：川とのふれあい方を学ぶ 水生生物がどんな場所にいるのか、川の形状はどうなっているのか、どんな場所が危険なのかを実際に体験しながら川の大切さを学んだ。			学習内容②：川の水質を知る 川で採取した水の水質(pH、透視度、COD)を検査し、同場所で採取した水生生物の種類の方から、川がどの程度きれいなのかを学び発表した。		
					
学習内容③：川の生態を学ぶ 川で採取した水生生物を種類ごとに分け、個々の生物の名称や特徴を調べ、身近な川にどんな生き物がどれくらいどうやって生息しているかを学んだ。			学習内容④：川の危険性について 降雨による増水、川の形状による急な深さや流れの変化等川に潜む危険、また治水の必要性について学んだ。		
					
【学習結果】 ・ pH 6.5 ・透視度 100.0cm ・ COD 5 ・ 採取した水生生物 カワムツ、カワヨシノボリ、ミナミヌマエビ、アメリカザリガニ、コオニヤンマ、コヤマトンボ、ハグロトンボウシガエル、シオカラトンボ、ヒゲナガカワトビゲラ			【土木事務所担当者の所感(当事業の成果等)】 ・ 普段目にしていない護岸や落差工がどのような役割を果たしているかを説明し、河川工事の重要性を説明した。 ・ 実際に川で生物を捕まえる際の捕まえ方等を教えた。教えた通りに一生懸命生物を捕まえる姿が印象的だった。		
備考	岐阜県自然工法管理士(1人参加)				
記入者	所属：河川砂防係	氏名：加納 豊史	電話番号(内線)	0572-23-1111 (318)	

支援学校名	多治見市立滝呂小学校	担当教員名	溝口先生	対象学年・人数	2年生105名
実施日	8月30日(水)		実施場所	笠原川	
テーマ	「河川環境を学ぶ」 川の現状や川とのふれあい方を学ぶ。		分類	治水・環境・砂防・安全啓発	
			連携機関	多治見市土岐川観察館	
学習内容①：川とのふれあい方を学ぶ 水生生物がどんな場所にいるのか、川の形状はどうなっているのか、どんな場所が危険なのかを実際に体験しながら川の大切さを学んだ。			学習内容②：川の水質を知る 川で採取した水の水質(pH、透視度、COD)を検査し、同場所で採取した水生生物の種類の方から、川がどの程度きれいなのかを学び発表した。		
					
学習内容③：川の生態を学ぶ 川で採取した水生生物を種類ごとに分け、個々の生物の名称や特徴を調べ、身近な川にどんな生き物がどれくらいどうやって生息しているかを学んだ。			学習内容④：川の危険性について 降雨による増水、川の形状による急な深さや流れの変化等川に潜む危険、また治水の必要性について学んだ。		
					
【学習結果】 ・ pH 7.5 ・透視度 63.5 ・ COD 8 ・ 採取した水生生物 カワムツ、カワヨシノボリ、ミナミヌマエビ、サワガニ コヤマトンボ、コオニヤンマ、			【土木事務所担当者の所感(当事業の成果等)】 ・ 学習場所に魚道があったため、その役割と私たちが生物や環境に配慮しながら工事を行っていることを説明した。 ・ 川は雨が降ると急に増水することがあるため、雨が降った時や降りそうなきは、川に近づかないように説明した。 ・ 子供たちは楽しそうに学習に取り組んでおり、川への関心を持ってもらえたように思う。		
備考	岐阜県自然工法管理士(1人参加)				
記入者	所属：河川砂防係	氏名：加納 豊史	電話番号(内線)	0572-23-1111(318)	

支援学校名	土岐市立濃南小学校	担当教員名	堀部先生	対象学年・人数	4年生18名
実施日	9月5日(火)		実施場所	肥田川	
テーマ	「河川環境を学ぶ」 川の現状や川とのふれあい方を学ぶ。		分類	治水・環境・砂防・安全啓発	
			連携機関	多治見市土岐川観察館	
学習内容①：川とのふれあい方を学ぶ			学習内容②：川の水質を知る		
水生生物がどんな場所にいるのか、川の形状はどうなっているのか、どんな場所が危険なのかを実際に体験しながら川の大切さを学んだ。			川で採取した水の水質(pH、透視度、COD)を検査し、同場所で採取した水生生物の種類の間方から、川がどの程度きれいなのかを学び発表した。		
					
学習内容③：川の生態を学ぶ			学習内容④：川の危険性について		
川で採取した水生生物を種類ごとに分け、個々の生物の名称や特徴を調べ、身近な川にどんな生き物がどれくらいどうやって生息しているかを学んだ。			降雨による増水、川の形状による急な深さや流れの変化等川に潜む危険、また治水の必要性について学んだ。		
					
【学習結果】			【土木事務所担当者の所感(当事業の成果等)】		
<ul style="list-style-type: none"> pH 6.5 透視度 41.1 COD 15 採取した水生生物 カワムツ、アブラハヤ、川ヨシノボリ、ホトケドジョウ、サワガニ、カワニナ 			<ul style="list-style-type: none"> 少人数であったため、一人ひとりに時間をかけて生物の捕まえ方を教えることができた。 川は雨が降ると急に増水することがあるため、雨が降った時や降りそうときは、川に近づかないように説明した。 夢中で水生生物を捕まえており、楽しみながら学ぶことができた。 		
備考	9月6日(水)中日新聞(東濃版)に総合学習の記事が掲載される。【巻末資料95頁掲載】 岐阜県自然工法管理士(1人参加)				
記入者	所属：河川砂防係	氏名：加納 豊史	電話番号(内線)	0572-23-1111(318)	

支援学校名	多治見市立根本小学校	担当教員名	今井先生	対象学年・人数	4年生105名
実施日	9月8日(金)		実施場所	大原川	
テーマ	「河川環境を学ぶ」 川の現状や川とのふれあい方を学ぶ。		分類	治水・環境・砂防・安全啓発	
			連携機関	多治見市土岐川観察館	
学習内容①：川とのふれあい方を学ぶ 水生生物がどんな場所にいるのか、川の形状はどうなっているのか、どんな場所が危険なのかを実際に体験しながら川の大切さを学んだ。			学習内容②：川の水質を知る 川で採取した水の水質(pH、透視度、COD)を検査し、同場所で採取した水生生物の種類の方から、川がどの程度きれいなのかを学び発表した。		
					
学習内容③：川の生態を学ぶ 川で採取した水生生物の種類ごとに分け、個々の生物の名称や特徴を調べ、身近な川にどんな生き物がどれくらいどうやって生息しているかを学んだ。			学習内容④：川の危険性について 降雨による増水、川の形状による急な深さや流れの変化等川に潜む危険、また治水の必要性について学んだ。		
					
【学習結果】 ・ pH 7.0 ・透視度 88.5m ・ COD 10 ・ 採取した水生生物 カワムツ、オイカワ、ドジョウ、ヨシノボリ、モツゴ、タモロコ、ミナミヌマエビ、アメリカザリガニ、スッポン、コオニヤンマ、コヤマトンボ、ヒル、メダカ			【土木事務所担当者の所感(当事業の成果等)】 ・ 川は楽しい反面、注意点を守らなければ命を落とす可能性があることを伝えた。 ・ 川は雨が降ると急に増水することがあるため、雨が降った時や降りそうなきは、川に近づかないように説明した。 ・ 夢中で水生生物を捕まえており、楽しみながら学ぶことができた。		
備考	岐阜県自然工法管理士(1人参加)				
記入者	所属：河川砂防係	氏名：加納 豊史	電話番号(内線)	0572-23-1111(318)	

支援学校名	瑞浪市立瑞浪小学校	担当教員名	伊佐地先生	対象学年・人数	4年生 125名
実施日	9月20日(水)		実施場所	万尺川	
テーマ	「河川環境を学ぶ」 川の現状や川とのふれあい方を学ぶ。		分類	治水・環境・砂防・安全啓発	
			連携機関	多治見市土岐川観察館	
学習内容①：川とのふれあい方を学ぶ 水生生物がどんな場所にいるのか、川の形状はどうなっているのか、どんな場所が危険なのかを実際に体験しながら川の大切さを学んだ。			学習内容②：川の水質を知る 川で採取した水の水質(pH、透視度、COD)を検査し、同場所で採取した水生生物の種類の間方から、川がどの程度きれいなのかを学び発表した。		
					
学習内容③：川の生態を学ぶ 川で採取した水生生物の種類ごとに分け、個々の生物の名称や特徴を調べ、身近な川にどんな生き物がどれくらいどうやって生息しているかを学んだ。			学習内容④：川の危険性について 降雨による増水、川の形状による急な深さや流れの変化等川に潜む危険、また治水の必要性について学んだ。		
					
【学習結果】 ・ pH 8.0 ・ 透視度 20.1 ・ COD 10 ・ 採取した水生生物 カワムツ、オイカワ、カワヨシノボリ、ミナミヌマエビ、ドジョウ、アメリカザリガニ、コオニヤンマ、アメンボ			【土木事務所担当者の所感(当事業の成果等)】 ・ 普段目にしていない護岸等がどのような役割を果たしているかを説明し、河川工事の重要性を説明した。 ・ 川は雨が降ると急に増水することがあるため、雨が降った時や降りそうなきは、川に近づかないように説明した。 ・ 実際に川で生物を捕まえる際の捕まえ方等を教えた。		
備考	岐阜県自然工法管理士(1人参加)				
記入者	所属：河川砂防係	氏名：加納 豊史	電話番号(内線)	0572-23-1111(318)	

支援学校名	多治見市立共栄小学校	担当教員名	青木先生	対象学年・人数	4年生64名
実施日	10月4日(水)		実施場所	高田川	
テーマ	「河川環境を学ぶ」 川の現状や川とのふれあい方を学ぶ。		分類	治水・環境・砂防・安全啓発	
			連携機関	多治見市土岐川観察館	
学習内容①：川とのふれあい方を学ぶ 水生生物がどんな場所にいるのか、川の形状はどうなっているのか、どんな場所が危険なのかを実際に体験しながら川の大切さを学んだ。			学習内容②：川の水質を知る 川で採取した水の水質(pH、透視度、COD)を検査し、同場所で採取した水生生物の種類の方から、川がどの程度きれいなのかを学び発表した。		
					
学習内容③：川の生態を学ぶ 川で採取した水生生物の種類ごとに分け、個々の生物の名称や特徴を調べ、身近な川にどんな生き物がどれくらいどうやって生息しているかを学んだ。			学習内容④：川の危険性について 降雨による増水、川の形状による急な深さや流れの変化等川に潜む危険、また治水の必要性について学んだ。		
					
【学習結果】 ・ pH 7.0 ・ 透視度 57.0m ・ COD 7 ・ 採取した水生生物 カワムツ、オイカワ、カワヨシノボリ、ドジョウ、スジエビ、アメリカザリガニ、ヘビトンボ、コオニヤンマ、カワナナ、コヤマトンボ、ウシガエル、ハグロトンボ			【土木事務所担当者の所感(当事業の成果等)】 ・ 河床がコンクリートになっている部分があり、滑りやすいので注意するように呼びかけを行った ・ 川は雨が降ると急に増水することがあるため、雨が降った時や降りそうなきは、川に近づかないように説明した。 ・ 夢中で水生生物を捕まえており、楽しみながら学ぶことができた。		
備考	岐阜県自然工法管理士(1人参加)				
記入者	所属：河川砂防係	氏名：加納 豊史	電話番号(内線)	0572-23-1111(318)	

支援学校名	多治見市立南姫小学校	担当教員名	加藤先生	対象学年・人数	4年生21名
実施日	10月17日(火)		実施場所		姫川
テーマ	「河川環境を学ぶ」 川の現状や川とのふれあい方を学ぶ。		分類	治水・環境・砂防・安全啓発	
			連携機関	多治見市土岐川観察館	
学習内容①：川とのふれあい方を学ぶ 水生生物がどんな場所にいるのか、川の形状はどうなっているのか、どんな場所が危険なのかを実際に体験しながら川の大切さを学んだ。			学習内容②：川の水質を知る 川で採取した水の水質(pH、透視度、COD)を検査し、同場所で採取した水生生物の種類の方から、川がどの程度きれいなのかを学び発表した。		
					
学習内容③：川の生態を学ぶ 川で採取した水生生物を種類ごとに分け、個々の生物の名称や特徴を調べ、身近な川にどんな生き物がどれくらいどうやって生息しているかを学んだ。			学習内容④：川の危険性について 降雨による増水、川の形状による急な深さや流れの変化等川に潜む危険、また治水の必要性について学んだ。		
					
【学習結果】 <ul style="list-style-type: none"> pH 7.0 ・透視度 70.5m COD 7.5 採取した水生生物 カワムツ、オイカワ、カワヨシノボリ、タモロコ、ドジョウ、モツゴ、ミナミヌマエビ、サワガニ、カワナナ、ヒル、コオニヤンマ、アメリカザリガニ、タニシ、ウシガエル、オニヤンマ 			【土木事務所担当者の所感(当事業の成果等)】 <ul style="list-style-type: none"> 河床がコンクリートになっている部分があり、滑りやすいので注意するように呼びかけを行った 川は雨が降ると急に増水することがあるため、雨が降った時や降りそうなきは、川に近づかないように説明した。 意欲的に川で生物を捕まえる姿が見てとれ、川に対する興味を持ってもらえてように思う。 		
備考	岐阜県自然工法管理士(1人参加)				
記入者	所属：河川砂防係	氏名：加納 豊史	電話番号(内線)	0572-23-1111(318)	

支援学校名	恵那市立岩呂小学校	担当教員名	知原先生	対象学年・人数	4年生49名
実施日	4月27日(木), 7月7日(金)		実施場所	岩村ダム 岩村川	
テーマ	「ダム、河川環境を学ぶ」 ダム及び身近な河川環境を学ぶ		分類	治水・環境・砂防・安全啓発	
			連携機関		
学習内容①： 岩村ダムの役割について学ぶ ダムの模型を用いて実験を行い、岩村ダムがどのように皆の町を守っているかを学んだ。			学習内容②： ダム本体の見学 ダムの天端や堤体内部に実際に入り、どのような構造となっているかを知ることができた。		
					
学習内容③： 岩村川の生態を学ぶ カワゲラウォッチングで採取した生物を種類別に分け、指標生物の載った下敷き等を用いて岩村川がどのような川であるかを班ごとに意見をまとめて発表した。			学習内容④： 川の安全な楽しみ方を学ぶ 実際に川に入ることで、川の危険な場所や安全に遊ぶ方法を職員に説明してもらい学ぶことができた。		
					
【学習結果と考察】 <ul style="list-style-type: none"> 確認できたのは、カワヨシノボリ、ヤゴ類、カワニナ類など。 ややきれいな水質に生息する水生生物が多いことから、岩村川はややきれいな川であるという結果になった。 昨年度より魚類が多く見つかり、きれいな川が保たれていることが分かった。 			【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】 <ul style="list-style-type: none"> ダムの模型を使うことでより分かりやすくダムの役割を学んでもらえたと感じた。 岩村川では、川とのふれあい方を学び、周りの環境について興味を持ってもらえたと感じた。 「ぎふ山と川の危険箇所マップ」のチラシを配布、説明し、川だけではなく土砂災害について周知できた。 		
備考	6月22日 カワゲラウォッチング事前打ち合わせ 岐阜県自然工法管理士（4月27日4人、7月7日1人参加）				
記入者	所属：河川係	氏名：田中 伸幸	電話番号（内線）	0573-26-1111 (347)	

支援学校名	恵那市立大井小学校	担当教員名	古井先生	対象学年・人数	4年生49名
実施日	6月23・26日(月・水)		実施場所	横町川(大井小学校前)	
テーマ	「河川環境を学ぶ」 カワゲラウォッチングに横町川の水質について学ぶ		分類	治水・環境・砂防・安全啓発	
			連携機関		
学習内容①：横町川とのふれあい方を学ぶ 水生生物がどんどころにいるのか、どのように捕まえるのか、どんどころが危険なのかを学んだ。			学習内容②：カワゲラウォッチング 教員や職員と楽しみながら活動を行い、横町川の特徴やどんどころに生物が生息しているかを学ぶことができた。		
					
学習内容③：横町川の生態を学ぶ 採取した水生生物を種類ごとに分けることで、身近な横町川がどのような川で、どのような生物がすんでいるかを知ることができた。			学習内容④：川の安全な楽しみ方を学ぶ 実際に川に入り感じたことを踏まえながら、安全に川に遊ぶための方法を職員に説明してもらうことで学んだ。		
					
【学習結果と考察】 <ul style="list-style-type: none"> 確認できたのは、ハグロトンボ、カワヨシノボリ、コオニヤンマ、カワニナ類など ややきれいな水質に生息する水生生物が多いことから、横町川はややきれいな川であるという結果になった 昨年度と同様の生物が見つかり、横町川はきれいに保たれていることがわかる。 			【土木事務所担当者の所感(当事業の成果等)】 <ul style="list-style-type: none"> 皆、積極的に川の中に入り水生生物の採取を行っていた。 横町川上流に行くと深い場所があり、川には危険な場所があることを知ってもらえた。 「ぎふ山と川の危険箇所マップ」のチラシを配布、説明し、川だけではなく土砂災害について周知できた。 		
備考	生徒たちからお礼の手紙をいただきました。【巻末資料96頁掲載】 6月13日 事前打ち合わせ 岐阜県自然工法管理士(23日1人、26日2人参加)				
記入者	所属：河川係	氏名：田中 伸幸	電話番号(内線)	0573-26-1111(347)	

支援学校名	恵那市立大井第二小学校	担当教員名	遠藤先生	対象学年・人数	4年生78名
実施日	7月3・12日(月・水)		実施場所	濁川(筋違橋付近)	
テーマ	「河川環境を学ぶ」 カワゲラウォッチングにより濁川の水質について学ぶ		分類	治水・環境・砂防・安全啓発	
			連携機関		
学習内容①：濁川とのふれあい方を学ぶ 水生生物がどんどころにいるのか、どのように捕まえるのか、どんどころが危険なのかを学んだ。			学習内容②：カワゲラウォッチング 実際に濁川に入り、水生生物の採取を行い、どんどころに生物がいるかを学んだ。		
					
学習内容③：濁川の生態を学ぶ 採取した水生生物を種類ごとに分けて、濁川がどのような川かを班ごとに考え、発表した。			学習内容④：川の安全な楽しみ方を学ぶ 川には流れが速く深い場所があることを知り、川で安全に遊ぶための注意点を学んだ。		
					
【学習結果と考察】			【土木事務所担当者の所感(当事業の成果等)】		
<ul style="list-style-type: none"> 確認できたのは、ヤゴ類、カワヨシノボリ、アメリカザリガニ、カワニナ類など ややきれいな水質に生息する水生生物が多いことから、濁川はややきれいな川であるという結果になった 昨年度と同様の生物が見つかり、濁川はきれいに保たれていることがわかる。 			<ul style="list-style-type: none"> 皆、積極的に川の中に入り水生生物の採取を行った。 濁川上流に落差工があり、皆職員の指示に従って近づかないよう活動していた。流れが速く危険であることを知ってもらえたと思う。 「ぎふ山と川の危険箇所マップ」のチラシを配布、説明し、川だけではなく土砂災害について周知できた。 		
備考	6月13日 事前打ち合わせ 岐阜県自然工法管理士(7月5日3人、7月12日2人参加)				
記入者	所属：河川係	氏名：田中 伸幸	電話番号(内線)	0573-26-1111(347)	

支援学校名	恵那市立中野方小学校	担当教員名	大平先生	対象学年・人数	4年生17名
実施日	11月14日(火)		実施場所	中野方ダム	
テーマ	「中野方ダムを学ぶ」		分類	治水・環境・砂防・安全啓発	
			連携機関		
学習内容①：中野方ダムの役割について学ぶ ダムの模型を用いて実験を行い、中野方ダムがどのように皆の町を守っているかを学んだ。			学習内容②：中野方ダム内部を見学 実際にダム内部に入りダムの大きさを知り、どのような構造になっているかを学んだ。		
					
学習内容③：川とのふれあい方を学ぶ ダムによって川や町の安全が保たれていることを知り、最後に川で遊ぶ際の注意点などを学んだ。			学習内容④：中野方ダム外部を見学 ダムを外部からも観察し、その大きさを実感することができた。		
					
【学習結果と考察】 <ul style="list-style-type: none"> ・中野方ダムの役割について、模型を用いて実験を行うことでより理解をしてもらえた。 ・普段は入ることのできない堤体や事務所に入り、構造や仕組みを学んでもらえた。 			【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】 <ul style="list-style-type: none"> ・ダムの役割を説明し、どのように自分たちの町を守っているか学んでもらえたと思う。 ・ダムの事務所や堤体に入る機会がめったになく、実際に中に入ることでよりダムについて理解してもらえたと思う。 		
備考	岐阜県自然工法管理士（1人参加）				
記入者	所属：河川係	氏名：田中 伸幸	電話番号（内線）	0573-26-1111(347)	

支援学校名	下呂市立馬瀬小学校	担当教員名	音石先生	対象学年・人数	3年生10名
実施日	6月6日(火)		実施場所	馬瀬川(ふれあい橋下流)	
テーマ	身近な河川に棲む生き物を採取・調査し、水質状況を知ることにより水質の保全・浄化の重要性を学ぶ。	分類	治水・環境・砂防・安全啓発		
		連携機関	下呂市役所環境課		
学習内容①：川のふれあい方をまなぶ			学習内容②：馬瀬川の生態を学ぶ		
馬瀬川に実際に入って、水生生物の採取を行うことで、川の特徴を知るとともに、どんな場所に生物が生息しているかを学ぶことができた。			採取した水生生物を種類ごとに分け、様々な生物の名称を知るとともに、どんな生き物がどれくらい生息しているかを体感することができた。		
					
学習内容③：馬瀬川の水質を知る			学習内容④：川の危険性について		
馬瀬川で採取した水生生物の種類や数を元に馬瀬川の水質がどうだったかについて取りまとめ、結果発表した。			降雨による急な増水や流れの変化等川に潜む危険性等について学んだ。		
					
【学習結果と考察】 <ul style="list-style-type: none"> 馬瀬川はきれいな水に棲むヒラタカゲロウ類やヘビトンボが採取できた。 水生生物の生息状況、川底の見え方や川底の状態、におい等により、とてもきれいな状態が保たれていると考えられる。 			【土木事務所担当者の所感(当事業の成果等)】 <ul style="list-style-type: none"> 川の中の子供たちの様子より、自然と触れ合うことの楽しさが伝わったと思う。 身近な川への関心が高まり、環境保全への意識啓発になればよいと思う。 		
備考	下呂市役所環境課(2人参加)				
記入者	所属：河川砂防課係	氏名：小川 浩平	電話番号(内線)	0576-52-3111(322)	

支援学校名	下呂市立尾崎小学校	担当教員名	中島先生	対象学年・人数	4年生20名
実施日	6月9日(金)		実施場所	山之口川(中露橋下流)	
テーマ	身近な河川に棲む生き物を採取・調査し、水質状況を知ることにより水質の保全・浄化の重要性を学ぶ。	分類	治水・環境・砂防・安全啓発		
		連携機関	下呂市役所環境課		
学習内容①：川とのふれあい方を学ぶ			学習内容②：山之口川の生態を学ぶ		
山之口川に実際に入って、水生生物の採取を行うことで、川の特徴を知るとともに、どんな場所に生物が生息しているかを学ぶことができた。			採取した水生生物の種類ごとに分け、様々な生物の名称を知るとともに、どんな生き物がどれくらい生息しているかを体感することができた。		
					
学習内容③：山之口川の水質を知る			学習内容④：川の危険性について		
山之口川で採取した水生生物の種類や数を元に山之口川の水質がどうだったかについて取りまとめ、結果発表した。			降雨による急な増水や流れの変化等川に潜む危険性等について学んだ。		
					
<p>【学習結果と考察】</p> <ul style="list-style-type: none"> 山之口川はきれいな水に棲むヒラタカゲロウ類やヘビトンボが採取できた。 水生生物の生息状況、川底の見え方や川底の状態、におい等により、とてもきれいな状態が保たれていると考えられる。 			<p>【土木事務所担当者の所感(当事業の成果等)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 川の中の子供たちの様子より、自然と触れ合うことの楽しさが伝わったと思う。 身近な川への関心が高まり、環境保全への意識啓発になればよいと思う。 		
備考	下呂市役所環境課(2人参加) 岐阜県自然工法管理士(1人参加)				
記入者	所属：河川砂防係	氏名：小保田 博斗	電話番号(内線)	0576-52-3111(323)	

支援学校名	下呂市立上原小学校	担当教員名	垣内先生	対象学年・人数	1, 2年生10名
実施日	6月12日(月)		実施場所	輪川(橋戸橋)	
テーマ	身近な河川に棲む生き物を採取・調査し、水質状況を知ることにより水質の保全・浄化の重要性を学ぶ。	分類	治水・環境・砂防・安全啓発		
		連携機関	下呂市役所環境課		
学習内容①：川とのふれあい方を学ぶ 輪川に実際に入って、水生生物の採取を行うことで、川の特徴を知るとともに、どんな場所に生物が生息しているかを学ぶことができた。			学習内容②：輪川の生態を学ぶ 採取した水生生物を種類ごとに分け、様々な生物の名称を知るとともに、身近な輪川に、どんな生き物がどれくらい生息しているかを体感することができた。		
					
学習内容③：輪川の水質を知る 輪川で採取した水生生物の種類と数についてや、輪川の水質がどうだったかについて取りまとめ、結果発表した。			学習内容④：川の危険性について 降雨による急な増水や流れの変化等川に潜む危険性等について学んだ。		
					
【学習結果と考察】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 輪川はきれいな水に棲むヒラタカゲロウ類やヘビトンボが採取できた。 ・ 水生生物の生息状況、川底の見え方や川底の状態、におい等により、上原小学校付近の輪川はとてもきれいな状態が保たれていると考えられる。 			【土木事務所担当者の所感(当事業の成果等)】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 自然と触れ合うことにより、子供たちは楽しそうであった。 ・ 身近な川のきれいさを知り、環境への関心が高まればよいと思う。 		
備考	下呂市役所環境課(2人参加)				
記入者	所属：河川砂防係	氏名：荒引 圭俊	電話番号(内線)	0576-52-3111(322)	

支援学校名	下呂市立菅田小学校	担当教員名	熊原先生	対象学年・人数	6年生10名
実施日	6月29日(木)		実施場所	菅田川(平瀬橋)	
テーマ	身近な河川に棲む生き物を採取・調査し、水質状況を知ることにより水質の保全・浄化の重要性を学ぶ。	分類	治水・環境・砂防・安全啓発		
		連携機関	下呂市役所環境課		
学習内容①：川のふれあい方を学ぶ 菅田川に実際に入って、水生生物の採取を行うことで、川の特徴を知るとともに、どんな場所に生物が生息しているかを学ぶことができた。			学習内容②：菅田川の生態を学ぶ 採取した水生生物を種類ごとに分け、様々な生物の名称を知るとともに、どんな生き物がどれくらい生息しているかを体感することができた。		
					
学習内容③：菅田川の水質を知る 菅田川で採取した水生生物の種類や数を元に菅田川の水質がどうだったかについて取りまとめ、結果発表した。			学習内容④：川の危険性について 降雨による急な増水や流れの変化等川に潜む危険性等について学んだ。		
					
【学習結果と考察】 <ul style="list-style-type: none"> 菅田川はきれいな水に棲むヒラタカゲロウ類やヘビトンボが採取できた。 水生生物の生息状況、川底の見え方や川底の状態、におい等により、とてもきれいな状態が保たれていると考えられる。 			【土木事務所担当者の所感(当事業の成果等)】 <ul style="list-style-type: none"> 川の中の子供たちの様子より、自然と触れ合うことの楽しさが伝わったと思う。 身近な川への関心が高まり、環境保全への意識啓発になればよいと思う。 		
備考	下呂市役所環境課(2人参加) 岐阜県自然工法管理士(1人参加)				
記入者	所属：河川砂防係	氏名：小保田 博斗	電話番号(内線)	0576-52-3111(323)	

支援学校名	下呂市立萩原小学校	担当教員名	細江先生	対象学年・人数	5年生42名
実施日	6月29日(木)		実施場所	桜谷(桜橋下流)	
テーマ	身近な河川に棲む生き物を採取・調査し、水質状況を知ることにより水質の保全・浄化の重要性を学ぶ。	分類	治水・環境・砂防・安全啓発		
		連携機関	下呂市役所環境課		
学習内容①：川とのふれあい方を学ぶ 桜谷に実際に入って、水生生物の採取を行うことで、川の特徴を知るとともに、どんな場所に生物が生息しているかを学ぶことができた。			学習内容②：桜谷の生態を学ぶ 採取した水生生物を種類ごとに分け、様々な生物の名称を知るとともに、どんな生き物がどれくらい生息しているかを体感することができた。		
					
学習内容③：桜谷の水質を知る 桜谷で採取した水生生物の種類や数を元に桜谷の水質がどうだったかについて取りまとめ、結果発表した。			学習内容④：川の危険性について 降雨による急な増水や流れの変化等川に潜む危険性等について学んだ。		
					
【学習結果と考察】 ・ 桜谷はきれいな水に棲むヒラタカゲロウ類やヘビトンボが採取できた。 ・ 水生生物の生息状況、川底の見え方や川底の状態、におい等により、とてもきれいな状態が保たれていると考えられる。			土木事務所担当者の所感(当事業の成果等) ・ 川の中の子供たちの様子より、自然と触れ合うことの楽しさが伝わったと思う。 ・ 身近な川への関心が高まり、環境保全への意識啓発になればよいと思う。		
備考	下呂市役所環境課(2人参加)				
記入者	所属：河川砂防係	氏名：荒引 圭俊	電話番号(内線)	0576-52-3111(322)	

支援学校名	下呂市立宮田小学校	担当教員名	建石先生	対象学年・人数	4年生11名
実施日	7月6日(木)		実施場所	大ヶ洞ダム	
テーマ	住みよいくらしをつくる ー水はどこから		分類	治水・環境・砂防・安全啓発	
			連携機関		
学習内容①：ダムの役割を学ぶ パワーポイントを使ってダムの目的や役割について、説明した。			学習内容②：実際にダムを見学する 実際にダム天端や監査廊内を歩くことによって、ダムの大きさを体感できた。		
					
学習内容③：ダム湛水池の水質を知る ダム湖を確認して実際に魚が泳いでいる状況やダムの水が水道に使われていることを学んだ			学習内容④：川の危険性について 降雨による急な増水や流れの変化等川に潜む危険性等について学んだ。		
					
【学習結果と考察】 ・ダムが日常生活に果たす役割やその仕組みをまとめることが出来た。 ・水の重要性を学習、再確認することができた。			【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】 ・ダムの必要性について理解していただけたと思う。 ・身近な川への関心が高まり、環境保全への意識啓発になればよいと思う。		
備考	子ども達から感想の手紙をいただきました。【巻末資料97頁掲載】 岐阜県自然工法管理士（1人参加）				
記入者	所属：河川砂防係	氏名：荒引 圭俊	電話番号（内線）	0576-52-3111 (322)	

支援学校名	下呂市立小坂小学校	担当教員名	新井先生	対象学年・人数	5年生15名
実施日	7月18日(火)		実施場所	小黒川(中川原橋下流)	
テーマ	身近な河川に棲む生き物を採取・調査し、水質状況を知ることにより水質の保全・浄化の重要性を学ぶ。	分類	治水・環境・砂防・安全啓発		
		連携機関	下呂市役所環境課		
学習内容①：小黒川とのふれあい方を学ぶ 小黒川に実際に入って、水生生物の採取を行うことで、川の特徴を知るとともに、どんな場所に生物が生息しているかを学ぶことができた。			学習内容②：小黒川の生態を学ぶ 採取した水生生物を種類ごとに分け、様々な生物の名称を知るとともに、どんな生き物がどれくらい生息しているかを体感することができた。		
					
学習内容③：小黒川の水質を知る 小黒川で採取した水生生物の種類や数を元に小黒川の水質がどうだったかについて取りまとめ、結果発表した。			学習内容④：川の危険性について 降雨による急な増水や流れの変化等川に潜む危険性等について学んだ。		
					
【学習結果と考察】 <ul style="list-style-type: none"> 小黒川はきれいな水に棲むヒラタカゲロウ類やヘビトンボが採取できた。 水生生物の生息状況、川底の見え方や川底の状態、におい等により、とてもきれいな状態が保たれていると考えられる。 			【土木事務所担当者の所感(当事業の成果等)】 <ul style="list-style-type: none"> 川の中の子供たちの様子より、自然と触れ合うことの楽しさが伝わったと思う。 身近な川への関心が高まり、環境保全への意識啓発になればよいと思う。 		
備考	下呂市役所環境課(2人参加)				
記入者	所属：河川砂防係	氏名：小川 浩平	電話番号(内線)	0576-52-3111(322)	

支援学校名	高山市立北小学校	担当教員名	奥田先生	対象学年・人数	4年生134名
実施日	6月15日(木)		実施場所	宮川(万人橋上下流)	
テーマ	カワゲラウォッチング 川の安全利用講習		分類	治水・環境・砂防・安全啓発	
			連携機関	飛騨県事務所(環境課)	
学習内容①: カワゲラウォッチング 宮川に棲む水生生物を採取し、川には多種多様な生物が棲んでいることを確認した。			学習内容②: 指標生物から川の清濁を知る 採取した水生生物を分別し、指標を用いて宮川の水質を調べた。		
					
学習内容③: パックテストによる川の清濁状況 パックテストにより川の水の清濁を調べ、ゴミを捨てることによる川への影響を考えた。			学習内容④: 川の安全利用講習 豪雨災害の事例を知り、水難事故に合わないための基本的な知識を得た。		
					
【学習結果と考察】 ・ 採取された生物やパックテストを通じて宮川の下流域についての水質を確認した。 ・ 洪水時の川の危険な部分を知り、川で遊ぶ時の注意点を学習することができた。			【土木事務所担当者の所感(当事業の成果等)】 ・ カワゲラウォッチングを通して川で遊ぶことの楽しさを知る一方で、川の危険な部分の学習もした。川に対する興味を失わないでほしい。 ・ ヒルが多く発見され、綺麗だと思っていた宮川が意外と汚れていることが判明した。今後、生活していくうえで、川のこと頭において生活してもらえと思う。		
備考	6月16日(金)岐阜新聞(飛騨版)に総合学習の記事が掲載される。【巻末資料98頁掲載】 岐阜県自然工法管理士(1人参加)				
記入者	所属: 河川砂防係	氏名: 坂東 照仁	電話番号(内線)	0577-33-1111(395)	

支援学校名	高山市立清見小学校	担当教員名	南先生	対象学年・人数	3・4年生45名
実施日	6月27日(火)		実施場所	川上川(清見町三日町)	
テーマ	カワゲラウォッチング 川の安全利用講習		分類	治水・環境・砂防・安全啓発	
			連携機関	飛騨県事務所(環境課)	
学習内容①: カワゲラウォッチング(事前授業)			学習内容②: カワゲラウォッチング		
川にはどんな水生生物が棲んでいるのか、どのように採取するのか学んだ。			川上川に棲む生物を採取し、名前を調べ、川には多種多様な生物が棲んでいることを確認した。		
					
学習内容③: 指標生物から川の清濁を知る			学習内容④: 模型を用いた土砂災害講習		
採取した水生生物を分別し、指標を用いて川上川の水質を調べた。			模型を使って土石流が及ぼす影響の範囲や砂防設備の重要性を学んだ。		
					
<p>【学習結果と考察】</p> <ul style="list-style-type: none"> 採取された生物やパックテストを通じて川上川中流域についての水質が綺麗であることを確認できた。 洪水時の川の危険な部分を知り、川で遊ぶ時の注意点を学んだ。 前日から晴れが続いていたため、指標生物が多く生息しており、豊かな川であることが分かった。 			<p>【土木事務所担当者の所感(当事業の成果等)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒たちは嬉々としてカワゲラウォッチングに取り組んでおり、川に対して興味関心をもってもらえたと思う。 模型を用いた土砂災害の講習会はわかりやすく活用できるならこれからも活用していきたい。 カワゲラウォッチングを通して川で遊ぶことの楽しさを知る一方で、川の危険な部分の学習もした。 		
備考	岐阜県自然工法管理士(1人参加)				
記入者	所属: 河川砂防係	氏名: 坂東 照仁	電話番号(内線)	0577-33-1111(395)	

支援学校名	高山市役所	担当教員名	-	対象学年・人数	小年生60名
実施日	7月28日(金)		実施場所	宮川・苔川	
テーマ	カワゲラウォッチング 川の安全利用講習		分類	治水・環境・砂防・安全啓発	
			連携機関	飛騨県事務所(環境課) 高山市環境政策部生活環境課	
学習内容①: カワゲラウォッチング			学習内容②: 水生生物の調査		
宮川・苔川に分かれ、各流域における水生生物の採取を行った。			採取した水生生物を持ち帰り、流域ごとに採取された生物の名前を確認し、集計作業を行った。		
					
学習内容③: 結果発表			学習内容④: 川の安全利用講習		
流域ごとに集計したものにより、水質を調べた。どんな生物がどんな水質に生息しているのか学んだ。			豪雨災害の事例を知り、水難事故に合わないための基本的な知識を学んだ。		
					
<p>【学習結果と考察】</p> <ul style="list-style-type: none"> 流域ごとの調査をおこなうことでどんな場所にどんな生物が生息しているのか学んだ。 流域ごとの水質を確認することで、人間の生活が付近の環境に負荷をかけていることを学んだ。 			<p>【土木事務所担当者の所感(当事業の成果等)】</p> <ul style="list-style-type: none"> カワゲラウォッチングを通して川で遊ぶことの楽しさを知る一方で、川の危険な部分も学んだ。川に対する興味を失わないでほしい。 多種多様な生物が確認された。川の綺麗さは流域によってさまざまであるが、平均すると比較的綺麗であることが判明した。生徒たちにはこれからも水質の維持向上を心掛けて生活してほしい。 		
備考	岐阜県自然工法管理士(1人参加)				
記入者	所属: 河川砂防係	氏名: 坂東 照仁	電話番号(内線)	0577-33-1111 (395)	

支援学校名	飛騨市立古川西小学校	担当教員名	三ツ山先生	対象学年・人数	4年生55名
実施日	7月11日(火)		実施場所	宮川(古川西小学校付近)	
テーマ	「身近な河川環境を学ぶ」 カワゲラウォッチングを通し、川とのふれあい方について理解を深める。		分類	治水・環境・砂防・安全啓発	
			連携機関	飛騨県事務所環境課	
学習内容①：宮川の生態系調査			学習内容②：指標生物による水質調査		
小学校背後を流れる宮川の水生生物の採取を行った。宮川にどのような生物が生息しているか、どのような場所に生物が生息しているかを学ぶことができた。			採取した宮川の水生生物を種類ごとに分類し、指標生物を集計することで、宮川の水質を学ぶことができた。		
					
学習内容③：パックテストによる水質調査			学習内容④：河川の安全利用講習		
河川の水、ジュースの2種について、パックテストによるCOD比較を行った。普段はきれいな水もゴミや生活排水によって汚れてしまうことを学ぶことができた。			川と親しむことの楽しさを知るとともに、川には危険な側面もあるため、川に入る際は大人と一緒にするなど、安全面に気をつける必要性を学ぶことができた。		
					
【学習結果と考察】 <ul style="list-style-type: none"> きれいな水から汚い水に住む生物まで幅広い生態系が確認できた。 ジュースでパックテストを行うと、普段の宮川の水より高いCOD値を示した。人が環境に配慮しなければ、川の水質が悪化してしまうことを学んだ。 			【土木事務所担当者の所感(当事業の成果等)】 <ul style="list-style-type: none"> きれいな水に住む生き物が確認できた一方、汚い水に住む生き物も確認したことで、児童にとって身近な河川である宮川を、さらにきれいな川にしていこうという意識を持ってもらうことができた。 児童に川で遊ぶ際の注意点等について認識してもらうことができた。 		
備考					
記入者	所属：河川砂防係	氏名：渡邊 博之	電話番号(内線)	0577-73-2911 (263)	

支援学校名	飛騨市立神岡小学校	担当教員名	野道先生	対象学年・人数	4年生45名
実施日	7月13日(木)		実施場所	高原川(神岡小学校付近)	
テーマ	「身近な河川環境を学ぶ」 カワゲラウォッチングを通し、川とのふれあい方について理解を深める。		分類	治水・環境・砂防・安全啓発	
			連携機関	飛騨県事務所環境課	
学習内容①：河川の安全利用講習			学習内容②：パックテストによる水質調査		
小学校背後を流れる宮川の水生生物の採取を行った。指標生物の集計を行うことで、川の中にどのような生物がいるか学んだ。			河川の水、ジュースの2種について、パックテストによるCOD比較を行った。普段はきれいな水もゴミや生活排水によって汚れてしまうことを学ぶことができた。		
					
<p>【学習結果と考察】</p> <ul style="list-style-type: none"> 河川で遊ぶ際の注意点等学ぶことができた。 ジュースでパックテストを行うと、普段の高原川の水より高いCOD値を示した。人が環境に配慮しなければ、川の水質が悪化してしまうことを学んだ。 			<p>【土木事務所担当者の所感(当事業の成果等)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 高原川の増水により、川に入ることができなかったが、危険な状態の川を直接見てもらったことで、児童に川で遊ぶ際の注意点等について認識してもらうことができた。 		
備考					
記入者	所属：河川砂防係	氏名：渡邊 博之	電話番号(内線)	0577-73-2911 (263)	

支援学校名	飛騨市立宮川小学校	担当教員名	倉坪先生	対象学年・人数	3年生1名 4年生2名
実施日	7月13日(木)		実施場所	宮川(宮川小学校付近)	
テーマ	「身近な河川環境を学ぶ」 カワゲラウォッチングを通し、川とのふれあい方について理解を深める。		分類	治水・環境・砂防・安全啓発	
			連携機関	飛騨県事務所環境課	
学習内容①：宮川の生態系調査			学習内容②：指標生物による水質調査		
小学校背後を流れる宮川の水生生物の採取を行った。宮川にどのような生物が生息しているか、どのような場所に生物が生息しているかを学ぶことができた。			採取した宮川の水生生物を種類ごとに分類し、指標生物を集計することで、宮川の水質を学ぶことができた。		
					
学習内容③：パックテストによる水質調査			学習内容④：河川の安全利用講習		
河川の水、ジュースの2種について、パックテストによるCOD比較を行った。普段はきれいな水もゴミや生活排水によって汚れてしまうことを学ぶことができた。			川と親しむことの楽しさを知るとともに、川には危険な側面もあるため、川に入る際は大人と一緒に入るなど、安全面に気をつける必要性を学ぶことができた。		
					
【学習結果と考察】			【土木事務所担当者の所感(当事業の成果等)】		
<ul style="list-style-type: none"> きれいな水から汚い水に住む生物まで幅広い生態系が確認できた。 スポーツドリンクや家庭用洗剤水でパックテストを行うと、普段の宮川の水より高いCOD値を示した。人が環境に配慮しなければ、川の水質が悪化してしまうことを学んだ。 			<ul style="list-style-type: none"> きれいな水に住む生き物が確認できた一方、汚い水に住む生き物も確認したことで、児童にとって身近な河川である宮川を、さらにきれいな川にしていこうという意識を持ってもらうことができた。 児童に川で遊ぶ際の注意点等について認識してもらうことができた。 		
備考	7月14日(金)岐阜新聞(飛騨版)に総合学習の記事が掲載される。【巻末資料99頁掲載】				
記入者	所属：河川砂防係	氏名：渡邊 博之	電話番号(内線)	0577-73-2911 (263)	

支援学校名	飛騨市立古川西小学校	担当教員名	川上・高垣先生	対象学年・人数	5年生 44名
実施日	11月9日(木)		実施場所	古川西小学校・宮川	
テーマ	「伝統的防災マップを利用した地域防災教育」 伝統的防災施設(霞堤・輪中堤)について学び、地域防災について理解を深める。	分類	治水・環境・砂防・安全啓発		
		連携機関			
学習内容①：伝統的防災施設の学習 伝統的防災施設である、霞堤・輪中堤の仕組みや効果を学習した。また、小学校付近の宮川にも霞堤があることを説明した。			学習内容②：霞堤の見学 実際に近くの霞堤まで行き、過去の災害を事例に霞堤の役割を再度説明するとともに、伝統的防災施設があることで地域が守られていることを認識してもらった。		
					
学習内容③：霞堤の模型を用いた実験 霞堤の仕組みを実感してもらうため、模型を用いて実験を行った。霞堤の働きにより、水の到達を遅らせることができ、その間に避難が可能となることを学んだ。			学習内容④：学習内容の発表 伝統的防災施設の講義、実験で学んだことから、わかったことや感じたことについて発表を行った。		
					
【学習結果と考察】 <ul style="list-style-type: none"> 県内に存在する伝統的防災施設として、霞堤および輪中堤について、その仕組みと効果について学んだ。 模型を用いた実験により、霞堤がある場合は、ない場合に比べて川の水位が上がりにくく、住宅地への洪水の到達までに時間が稼げることがわかった。 上記の結果を受けて、児童からは「霞堤があることで、自分たちの家が守られていることがわかった」等の意見が出た。 			【土木事務所担当者の所感(当事業の成果等)】 <ul style="list-style-type: none"> 伝統的防災施設である霞堤が身近にあることを児童たちに認識してもらうことができた。 実験により楽しんで学んでもらうことができた。また、霞堤の効果について肌で感じるができ、水害から身を守るためには、先人の知恵である霞堤を残していく必要があると知ってもらうことができた。 		
備考	11月10日(金)岐阜新聞(飛騨版)に総合学習の記事が掲載される。【巻末資料99頁掲載】子ども達から感想の手紙をいただきました。【巻末資料100頁掲載】				
記入者	所属：河川砂防係	氏名：渡邊 博之	電話番号(内線)	0577-73-2911 (263)	

支援組織名	—	担当 教員名	—	対象学年 及び人数	1年生～6年生24名
実施日	7月28日(水)			実施場所	アクア・トト ぎふ
テーマ	清流の国ぎふ水環境イベント 清流の国ぎふの“川博士”・“川遊び名人” になろう！			分類	<u>治水</u> ・ <u>環境</u> ・砂防・ <u>安全啓発</u>
				連携機関	アクア・トト ぎふ NPO 法人長良川環境レンジャー協会、
学習内容①：洪水と治水を学ぼう 模型を使って洪水から街を守る仕組みを学びます。				学習内容②：水生生物を学ぼう（クラフト体験） バルサ材を使って魚の形をしたキーホルダー作りを体験します。	
					
学習内容③：川で安全に遊ぶためのルールを学ぼう 川で遊ぶ際の注意事項の講義や、ライフジャケット試着体験を行います。				学習内容④：水生生物を探して、川の環境を学ぼう 北派川の生き物調査を行い、川の生き物やその生息環境を学びます。	
					
【学習結果と考察】 <ul style="list-style-type: none"> ・伝統的防災施設が地域を守っていることや、川の生き物について家族で考えるよい機会となった。 ・参加者からは「川のことを学べてよかった」、「親子で川の安全な遊び方を学べてよかった」、「模型を使った実験は分かり易かった」との感想をいただいた。 				【河川課担当者の所感（当事業の成果等）】 <ul style="list-style-type: none"> ・子ども達に川の役割や防災施設の役割を理解してもらえよう、模型の他に説明資料を使用して説明した。 ・各テーマを体験型のプログラムとすることで、参加者の理解がより深まったと考える。 ・川と人の関わりや、川の危険性について学ぶことが出来た。 	
備考	1年生4名、2年生3名、3年生7名 4年生5名、5年生3名、6年生2名				
記入者	所属：企画環境係	氏名：藤井 孝和	電話番号（内線）	058-272-1111 (3727)	

支援学校名	—	担当教員名	—	対象学年・人数	子ども 21名 保護者 17名
実施日	11月12日(日)		実施場所	海津市内 (木曾三川公園、さぼう遊学館)	
テーマ	「砂防を学ぶ」 土砂災害について知ってもらい、土砂災害から身を守る方法を学んでもらう。		分類	治水・環境・ 砂防 ・安全啓発	
			連携機関	岐阜県砂防協会	
学習内容①： 養老山地の説明 木曾三川公園の展望タワーから養老山地の説明を受け、扇状地など地形の特徴について学んだ。			学習内容②： 砂防堰堤の見学 羽根谷砂防堰堤を見学し、土石流や堰堤の役割を認識し、土砂災害の危険性を学んだ。		
					
学習内容③： 講師による土砂災害に関する説明 ハザードマップや土砂災害警戒区域について説明を受け、土砂災害から身を守るための方法を学んだ。			学習内容④： 模型等による土石流のしくみを体験 模型を用いて、土石流の仕組みや砂防堰堤の効果を体験した。		
					
【学習結果と考察】 ・ 土砂災害の危険性について学び、砂防堰堤の必要性を知ることができた。 ・ 普段は立ち入らないような場所から施設を間近に見学し、その構造や効果について身を持って学んだ。			【砂防課の所感（当事業の成果等）】 ・ 普段は余りなじみのない土砂災害について、興味をもってもらうことができた。 ・ 模型実験により砂防堰堤の重要性を感じていた。 ・ 土砂災害に対して、日頃から備えておくべきことを理解してもらえたと思う。		
備考	参加者内訳（保護者：17名、子ども：21名）				
記入者	所属：企画係	氏名：田中 謙哉	電話番号（内線）	058-272-1111 (3743)	

支援学校名

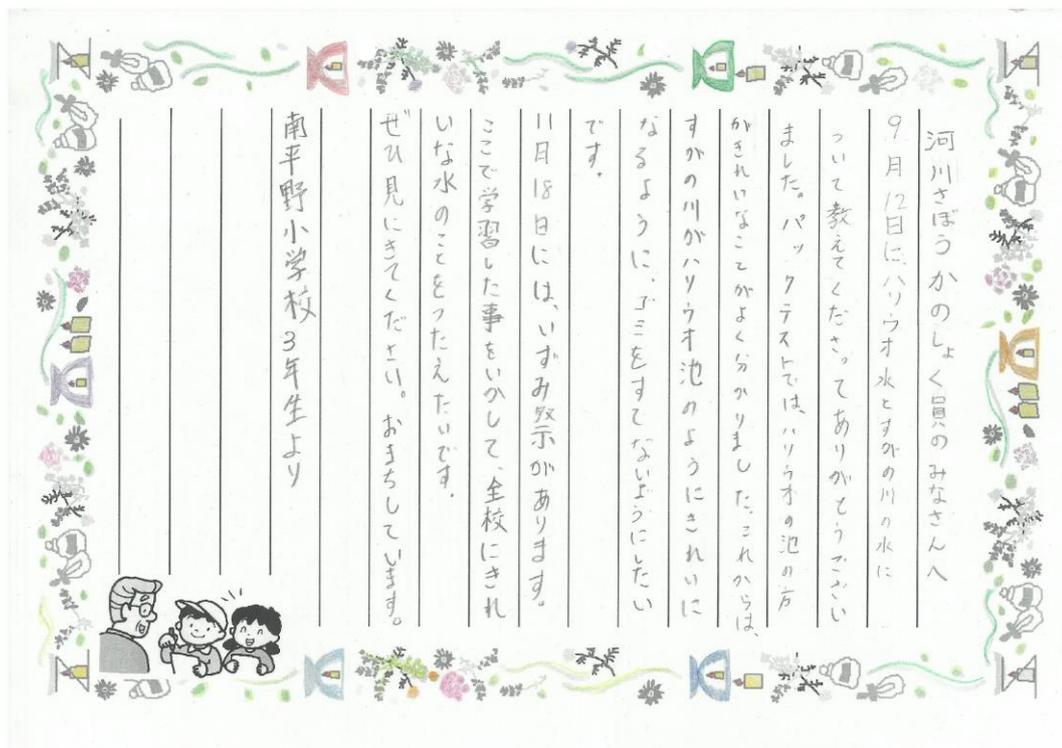
神戸町立南平野小学校

(1 / 1)

関連ページ

16ページ

【児童からの手紙】



約束
 1. 3つ下を静かに歩こう
 2. 大きな声で発表しよう
 3. 反応しながら聞こう
 4. 感想をもとう
 5. 音楽が鳴っている
 間に必ず木多動か
 てください。

オープニング セレモニー	9:20~
学習発表 (前半)	① 9:45~
	② 10:00~
	③ 10:15~
準備・移動	
学習発表 (後半)	④ 10:35~
	⑤ 10:50~
	⑥ 11:05~
エンディング セレモニー	11:25~

(オープニングセレモニーは体育館で行います。
 オープニングセレモニーは各教室で聞きます)

いずみ祭のスローガンを
 発表を聞き自分の考えをもつ
 4人の大家族

話す人のスローガン
 1. 遠くの人に聞こえる声ではっきり話そう。

聞く人のスローガン
 1. 目を見て反応しながら感想が言えるように聞こう。

計画表

1年生
 秋のおちゃやイベントをひらこう

2年生
 おちゃやスナバールをひらこう

3年生
 ハリウオがめぐる環境について考えよう

4年生
 かんたんな問題をきくついでに学習しよう

5年生
 笑に生きろ〜みんなが笑顔をみせよう

6年生
 働いてとんとん

支援学校名

郡上市立明宝小学校

(1 / 1)

関連ページ

35ページ

【児童からの手紙】

ありがとうございました



明宝小学校4年生

河川砂防言葉のみなさんへ

先日は、砂防についていろいろ教えてくださりありがとうございました。

わたしは、石や岩、石がはりがねの砂防や、れんがの砂防で、とめられていてすごいと思いました。とくに、はりがねの砂防は、動物や魚がおれるのと、大きい岩、石をとめられるので、すごいと思いました。

最初、みたDVDに、砂防がなかったら、としゃがひどくて、家が流れていたけど、砂防があったら、としゃをとめて、流される物がすくなくなっていました。

これからも、砂防がふえていくといいです。

家に帰ったら、お家の人に教えていただいたことを、い、はい、話たいです。いろいろ教えてくださりありがとうございました。

支援学校名

恵那市立大井小学校

(1 / 1)

関連ページ

62ページ

【児童からの手紙】

河川係のみなさんへ

先日はありがとうございました。わたしは川遊びをあまりしませんか、このカワケラをや、てまた水の調子をしたいなと思いましたが、あさい方はぜんぜん取れなかつたけど深い方でいはい、取れたのでうれしかったです。結果できれいな川というのでよかったです。これからも魚などがすみやすい川にしてください。

4年 1組

河川係のみなさんへ

こんにちは。先日は私たちのために時間を空けてくださりありがとうございました。私は、川にすむ生き物で、川のきれいでか分かるということをはじめで知りました。生き物の名前を教えてください。生き物をつかまえてくださり本当にありがとうございました。いつもあまり川の話は聞きなかつたけれど横町川をきれいにしたいし、川にすむ生き物もふやして、きれいな横町川をもっときれいにしたいと思いました。

4年 2組

河川係のみなさんへ

こんにちは。先日はカワケラフッシングをさせていただきありがとうございました。まず私は横町川の中に生き物がたくさんいることを初めて知れたのでよかったです。深い所に魚がたくさんいた事がおどろきました。私が見学してうれしかった事は、はじめはなにも取れなかつたけどここに居ると教えてくれていろいろな生き物を取れたのでうれしかったです。これからは横町川にはゴミを捨てないように気をつけたいと思いました。

4年 2組

記入者

所属：河川係

氏名：田中 伸幸

電話番号(内線)

0573-26-1111 (347)

支援学校名

下呂市立宮田小学校

(1 / 1)

関連ページ

70ページ

【児童からの手紙】

ダムのみなさんへ

きょうはダムの見学をさせてもら
てありがとうございました。

ぼくは地下に入るととても暗く、たり
きくなかいたんですこしこわかったです。
だけどダムのみなさんはいつも入って
いるからすごいと思いました。

ダムのみなさんは、生き物やみんなの
生活のことを考えているのですごい
と思いました。

宮田地区のみんなは、ダム
にたづけられているんだなと
思いました。だから水をた
いじにつかいたいです。

ダムのみなさんへ

今日の社会見学ありがとうございました。
とくに楽しかったのは、地下で暗い時もあ
れば階段があったりして楽しかったです。
三年前の夏休みに兄が研究でお
せわになりました。

その時ぼくもおしませてもらって
すくなくなっかしたのです。その時カド
ももらってカドが二まいになりました。

ぼくは、ダムがあるおかげで
水がすくにならないからすく
たすかと思いました。
たのしかったのでありがとう
ございました。

ダムのみなさんへ

今日は、とても楽しい見学ありがとうございました。
いきました。ぼくは、ダムの事を、くわしく
知れて、とてもうれしかったです。ぼくは、初めて、
ダムの地下を通らせていただいて、とても涼しく、
たし、とても湿度が高く感じられました。
その他にも、ダムの仕組みや、質問にも
回答していただきありがとうございました。
ぼくは、ダムによって、各地の自然が守ら
れる事がとてもステキでした。ぼくは、
釣りが川岸が大好きなので、
自分なりに、協力して、自然を
守りたいです。

ダムのみなさんへ

今日は、お世話になりました。

わたしは、ダムのことを今日、はじめて知って、
ダムの深さ、ダムの色々な役目をしれてよか
たです。

わたしは、階段を上ったり、下ったりして、と
てもこわかったし、大穴のダムは、けっこう大
きいのに、それより大きいダムがあるなん
て、思いませんでした。

きいし、のしつ問タイムにだれかが
「ダムがあふれたことありますか？」と
聞いたとき、「あふれたことありませ
ん」といったとき、とてもびっくりし
ました。今日は、ありが
とうございました。

これまでの支援活動の経緯

岐阜県では、次の世代を担う子ども達に身近な川の環境を体感してもらうとともに、私達の暮らしを守る川の役割を知ってもらうことによって、未来の地球環境や水害軽減のための取り組みを考えるパートナーを育むことを目的に、川を題材とした「総合的な学習の時間」に取り組んでいる小中学校への支援を積極的に行っています。

平成13年度に岐阜県内で河川や水辺を利用した自然学習を実践している代表校の先生や関係市町村職員、有識者、河川管理者等による「川を利用した自然学習懇談会～教育関係者と河川管理者の実務担当者懇談会～」で今後の自然学習を広める方策を検討し、平成14年度より小中学校への本格的な支援を開始しました。

現在では、自然や環境だけでなく、治水、砂防、安全啓発など幅広い分野において総合的な学習の時間の支援を行っています。

平成14年度

支援人数	約1,000名
支援学校・団体数	19校
支援回数	44回

8月に指導者のための河川水質調査研修会、3月に「ぎふ発子供たちによる川のフォーラム2003～これでわたしも川博士～」を開催。

平成15年度

支援人数	約1,110名
支援学校・団体数	22校
支援回数	48回

7月に県主催の河川環境メッセにおいて、子供たちの日頃の川に関する取り組みについてのパネル展示や、関連イベントとして、「川の自然観察会」を開催。

平成16年度

支援人数	約1,700名
支援学校・団体数	18校
支援回数	35回

7月に県主催の河川環境メッセにおいて、子供たちの日頃の川に関する取り組みについてのパネル展示を実施。

平成17年度

支援人数	約1,680名
支援学校・団体数	22校
支援回数	35回

7月に県主催の河川環境メッセにおいて、子供たちの日頃の川に関する取り組みについてのパネル展示や、環境学習を実施している小学校による学習発表会を実施。

平成18年度

支援人数	約 2,050 名
支援学校・団体数	31 校
支援回数	39 回

7月に県主催の河川環境メッセにおいて、子供たちの日頃の川に関する取り組みについてのパネル展示や、環境学習を実施している小学校による学習発表会を実施。

平成19年度

支援人数	約 2,460 名
支援学校・団体数	40 校
支援回数	54 回

8月～11月に県主催の自然共生パネル展において、子供たちの日頃の川に関する取り組みについてのパネル展示を実施。

平成20年度

支援人数	約 2,650 名
支援学校・団体数	39 校
支援回数	48 回

平成21年度

支援人数	約 2,940 名
支援学校・団体数	46 校
支援回数	56 回

平成22年度

支援人数	約 2,790 名
支援学校・団体数	44 校
支援回数	59 回

平成23年度

支援人数	約 3,340 名
支援学校・団体数	53 校
支援回数	66 回

平成24年度

支援人数	約 3,170 名
支援学校・団体数	45 校
支援回数	55 回

平成25年度

支援人数	約 4,000 名
支援学校・団体数	61 校
支援回数	75 回

平成26年度

支援人数	約 3,790 名
支援学校・団体数	62 校
支援回数	80 回

平成27年度

支援人数	約 4,360 名
支援学校・団体数	71 校
支援回数	80 回

平成28年度

支援人数	約 4,460 名
支援学校・団体数	71 校
支援回数	81 回

平成29年度

支援人数	約 3,940 名
支援学校・団体数	70 校
支援回数	77 回

(参考) 平成28年度 支援学校・団体一覧

瑞穂市立牛牧小学校	関市立金竜小学校	瑞浪市立瑞浪小学校
瑞穂市立本田小学校	郡上市立吉田小学校	多治見市立市之倉小学校
岐阜市立早田小学校	郡上市立大中小学校	多治見市立昭和小学校
北方町立北方西小学校	郡上市立大和南小学校	多治見市立南姫中学校
岐阜市立岩野田北小学校	郡上市立高鷲小学校	恵那市立岩邑小学校
北方町立北方小学校	海津市立東江小学校	恵那市立大井小学校
岐阜市立長森南中学校	郡上市立明宝小学校	恵那市立大井第二小学校
北方町立北方南小学校	郡上市立和良小学校	恵那市立中野方小学校
垂井町立東小学校	七宗町立神渕小学校	下呂市立馬瀬小学校
大垣市立北小学校	八百津町立和知小学校	下呂市立宮田小学校
海津市立大江小学校	可児市立広見小学校	下呂市立尾崎小学校
水門川の川底学習会	川辺町立川辺西小学校	下呂市立上原小学校
神戸町立南平野小学校	岐阜県立東濃高等学校	下呂市立竹原小学校
海津市立下多度小学校	白川町	高山市立北小学校
養老町立上多度小学校	美濃加茂市立山手小学校	高山市立宮小学校
池田町立池田小学校	多治見市立滝呂小学校	高山市立南小学校
岐阜県立揖斐特別支援学校	多治見市立共栄小学校	高山市立松倉中学校
美濃市立中有知小学校	土岐市立濃南小学校	高山市
美濃市立牧谷小学校	多治見市立池田小学校	飛騨市立古川小学校
関市立博愛小学校	多治見市立根本小学校	飛騨市立古川西小学校
関市立安桜小学校	多治見市立精華小学校	飛騨市立神岡小学校
関市立富野小学校	瑞浪市立釜戸小学校	飛騨市立宮川小学校
関市立洞戸小学校	瑞浪市立土岐小学校	水環境イベント
関市立武儀東小学校	多治見市立南姫小学校	